

2025年3月期
第1四半期決算説明会

ダイジェスト版

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2024年8月9日



アステリア株式会社

◆本社事業 ✓ 企業向けソフトウェア製品の
開発・販売

◆子会社 ✓ AI研究開発(日本)
✓ ソフトウェア開発(シンガポール、中国)
✓ 企業投資(米国)

◆株式市場 東証プライム(3853)
◆設立 1998年9月
◆資本金 22億7,534万円
◆従業員数 133名(連結)

(2024年6月30日現在)

ソフト業界で
ノーコード
ブロックチェーン
ウェルビーイング
など先進分野を
牽引!!



サイボウズ等と2022年に発足

ノーコード推進協会



ブロックチェーン推進協会



国内最大のブロックチェーン団体



CWO(最高ウェルビーイング
責任者)を新設



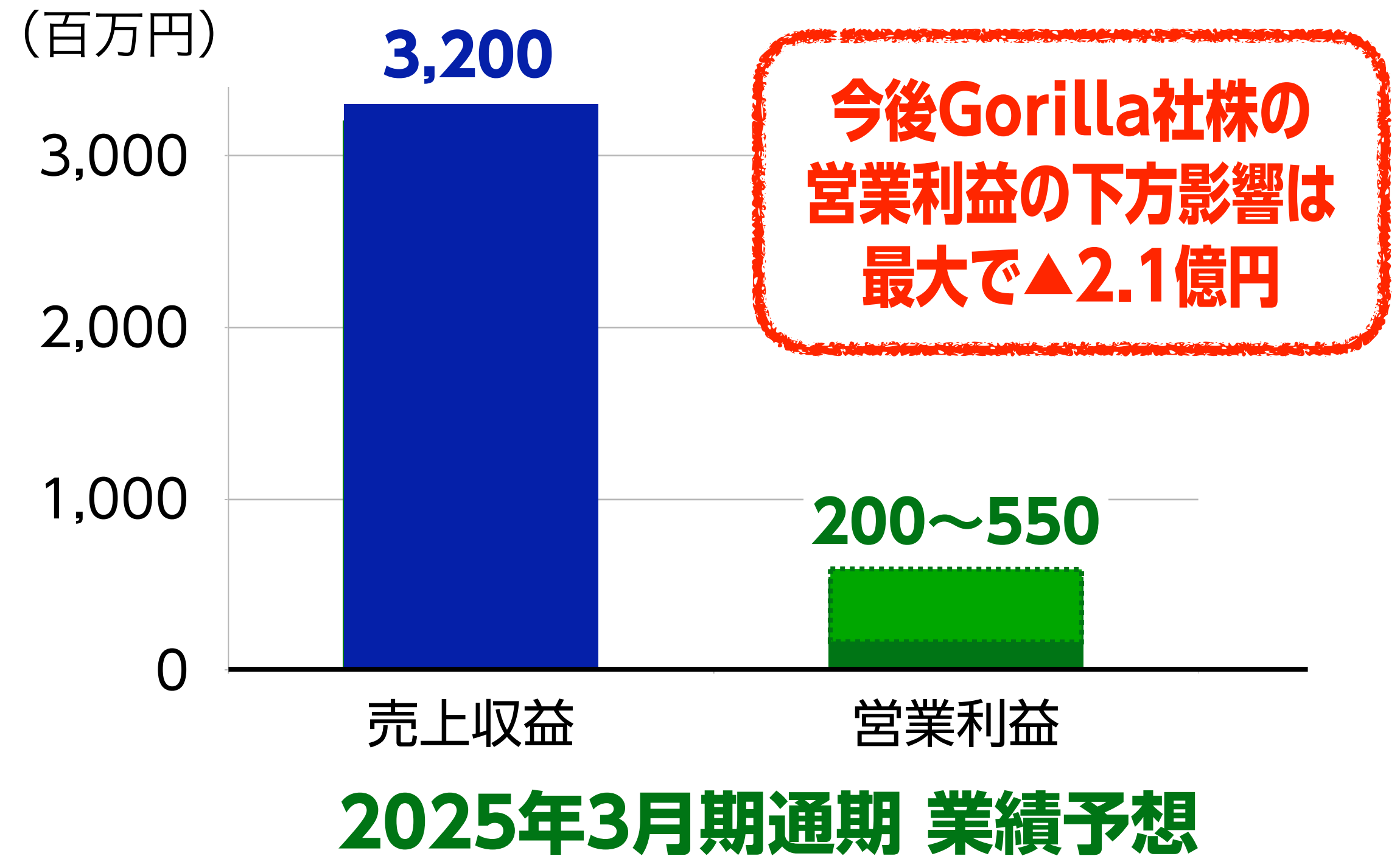
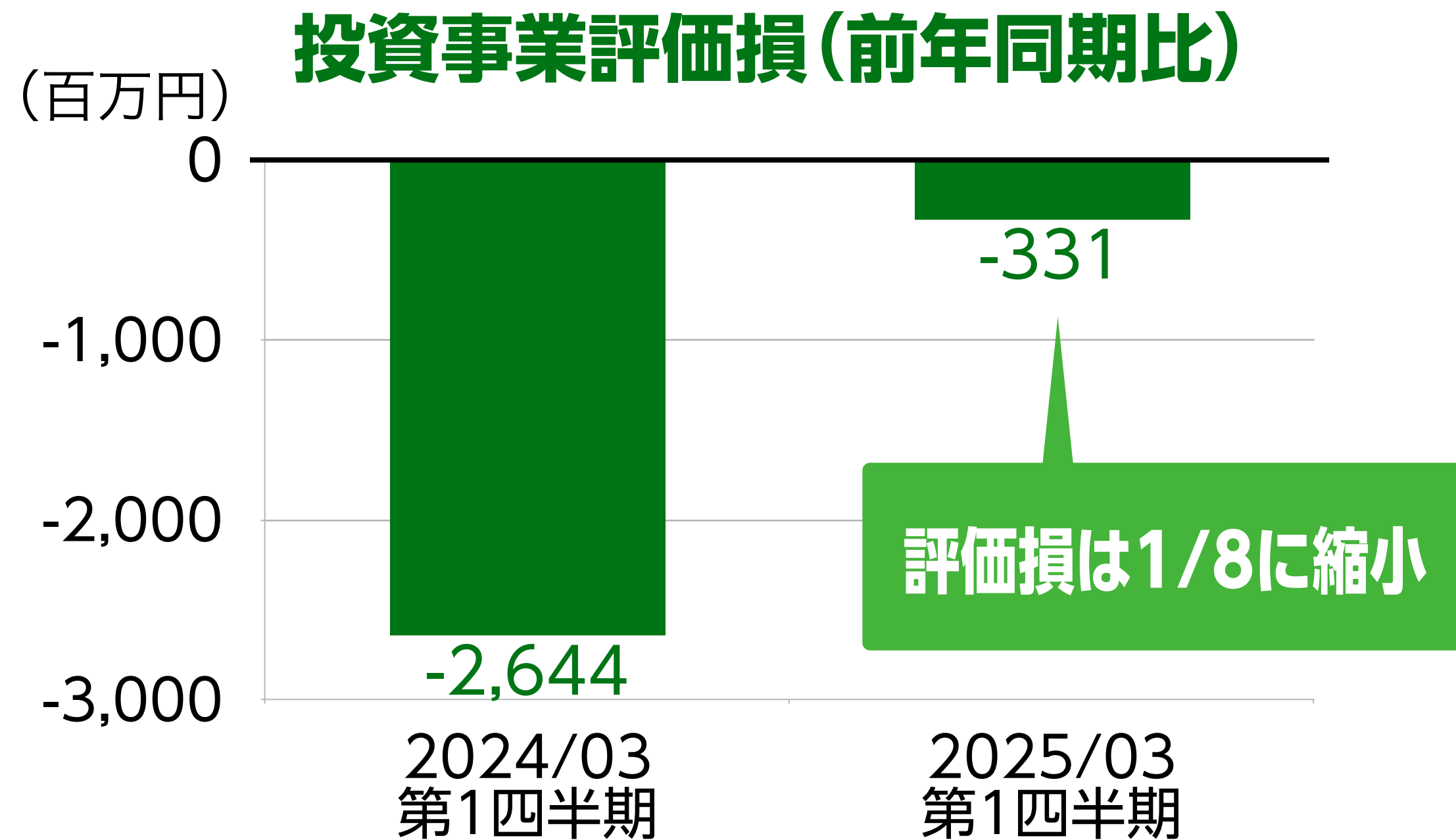
決算概要

2025年3月期 第1四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

【注】This Place Limited売却(2024年3月)により、非継続事業として連結から除外

投資事業の赤字が減少、通期連結業績は黒字予想

投資事業の評価損が大きく改善

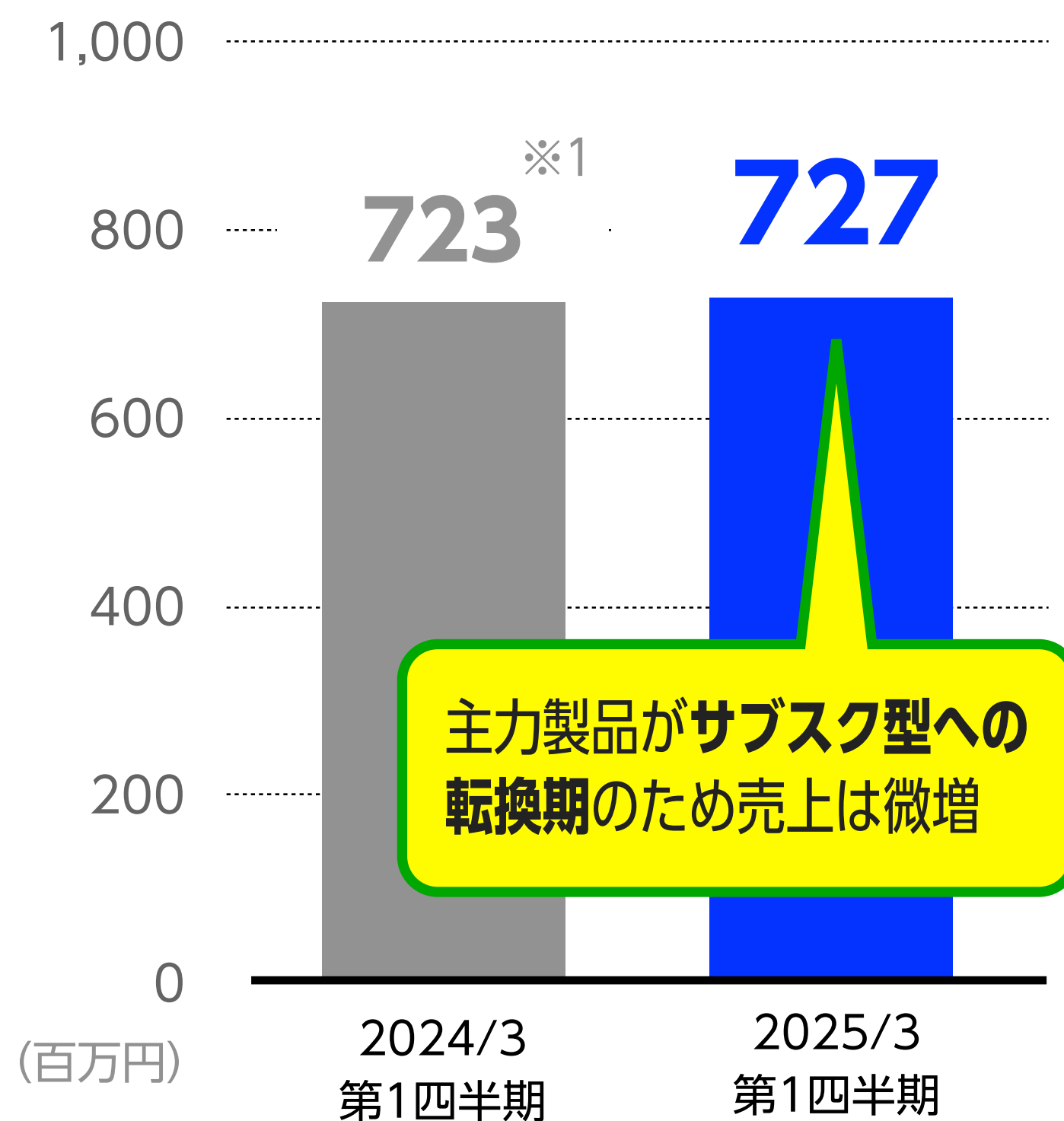


Q1 評価損は想定内で通期予想に変更無し

ソフトウェア事業は順調に推移 (投資事業は売上無し)

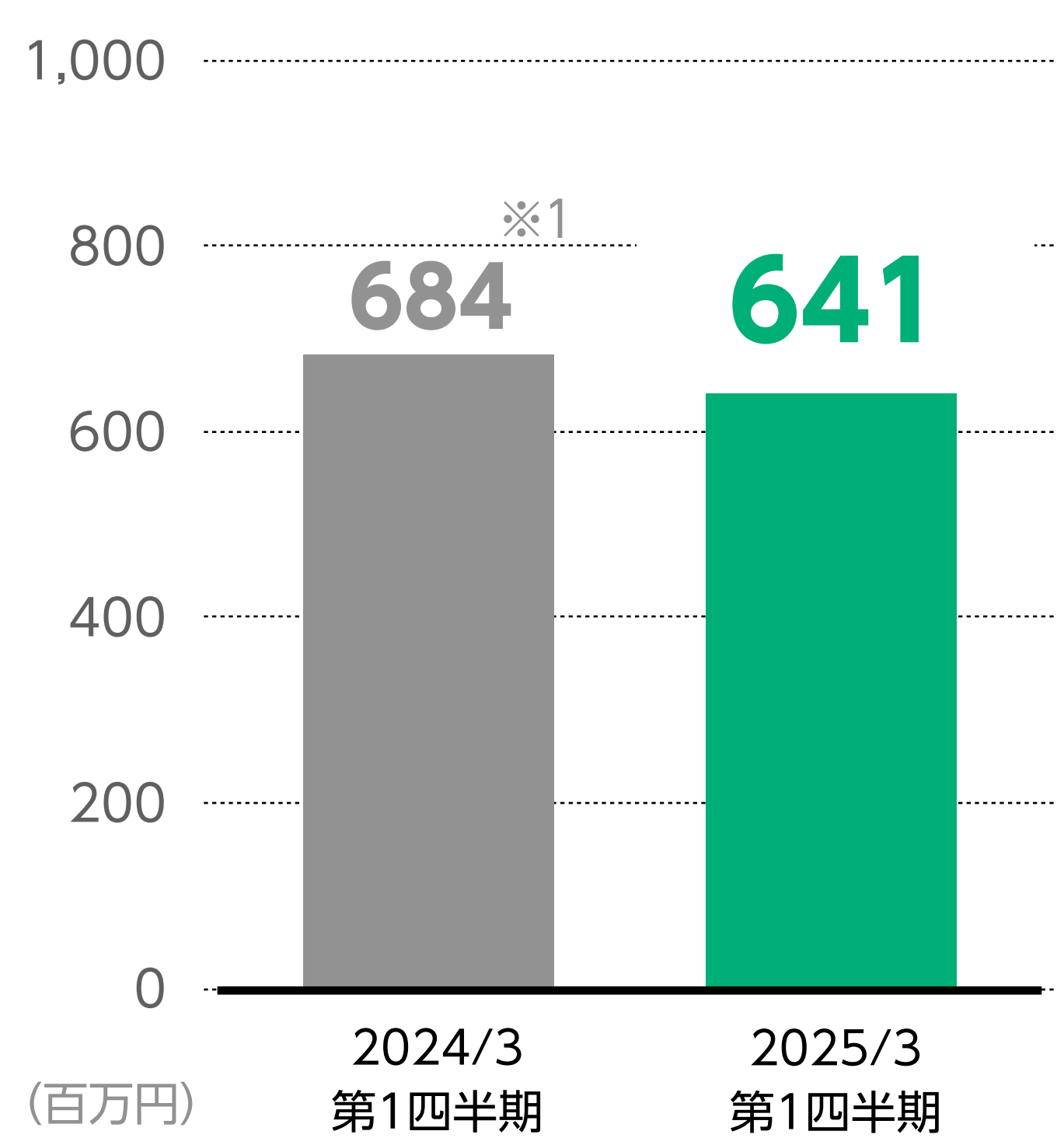
売上収益

業績予想進捗率23%



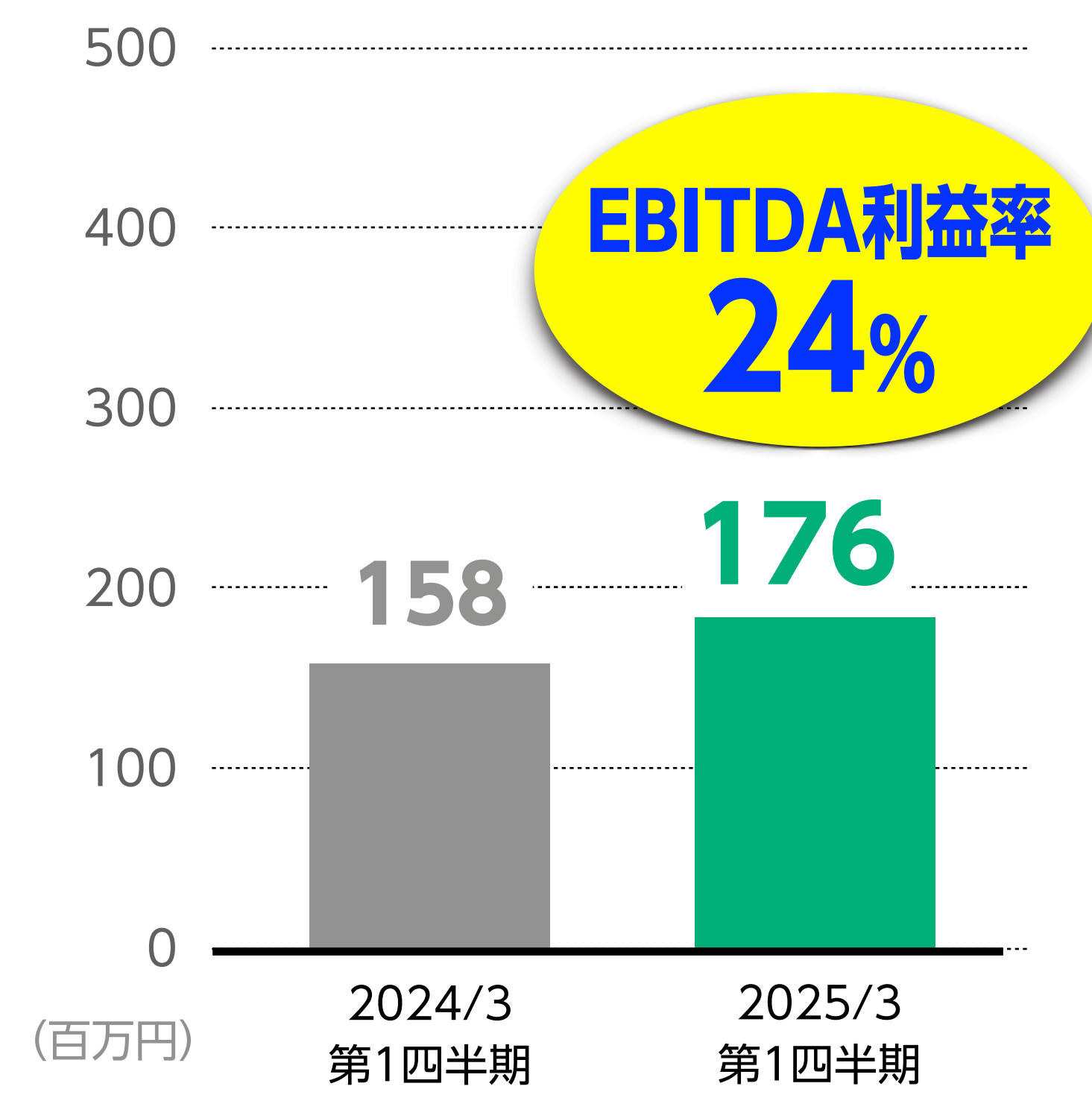
売上総利益 (粗利)

粗利率9割を維持



調整後EBITDA※2

前年同期比11.3%増



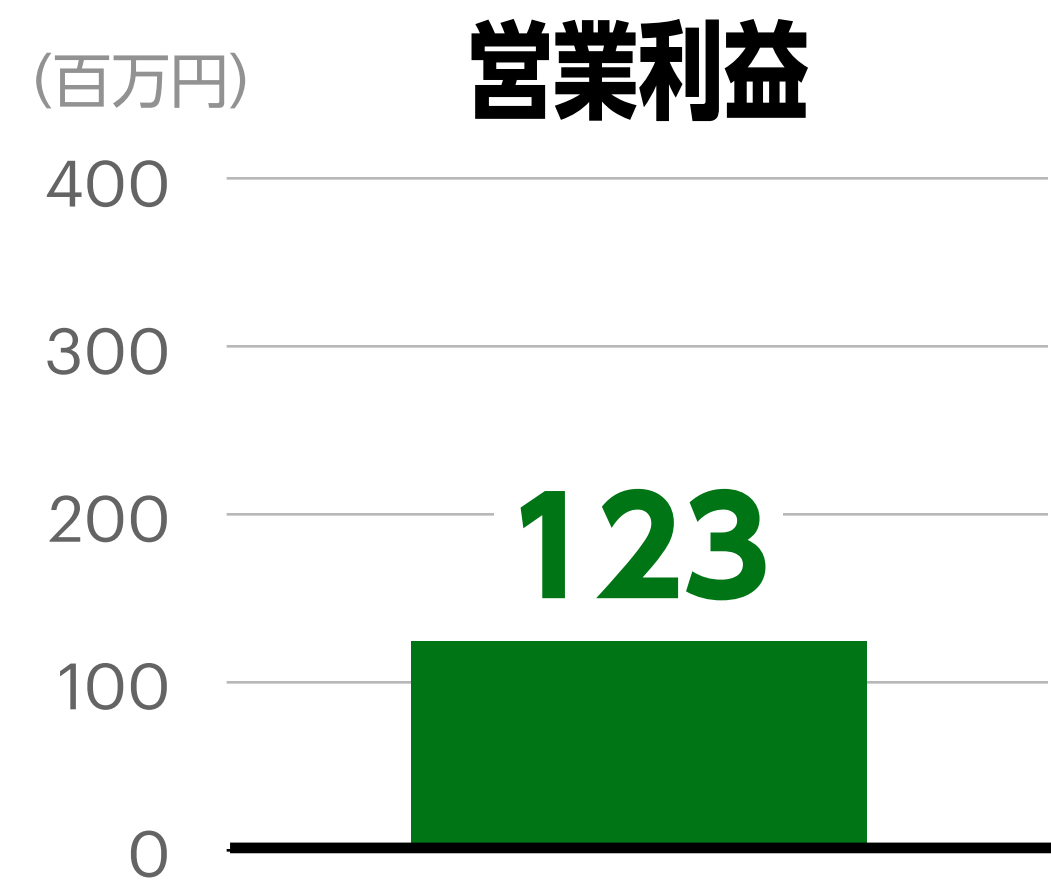
※1 This Place売却 (2024年3月) により、前年同期はソフトウェア事業に国内デザイン事業 (非継続) が加わった数値

※2 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ± 調整項目 (のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)

投資事業の赤字が大幅低減するもQ1は連結赤字

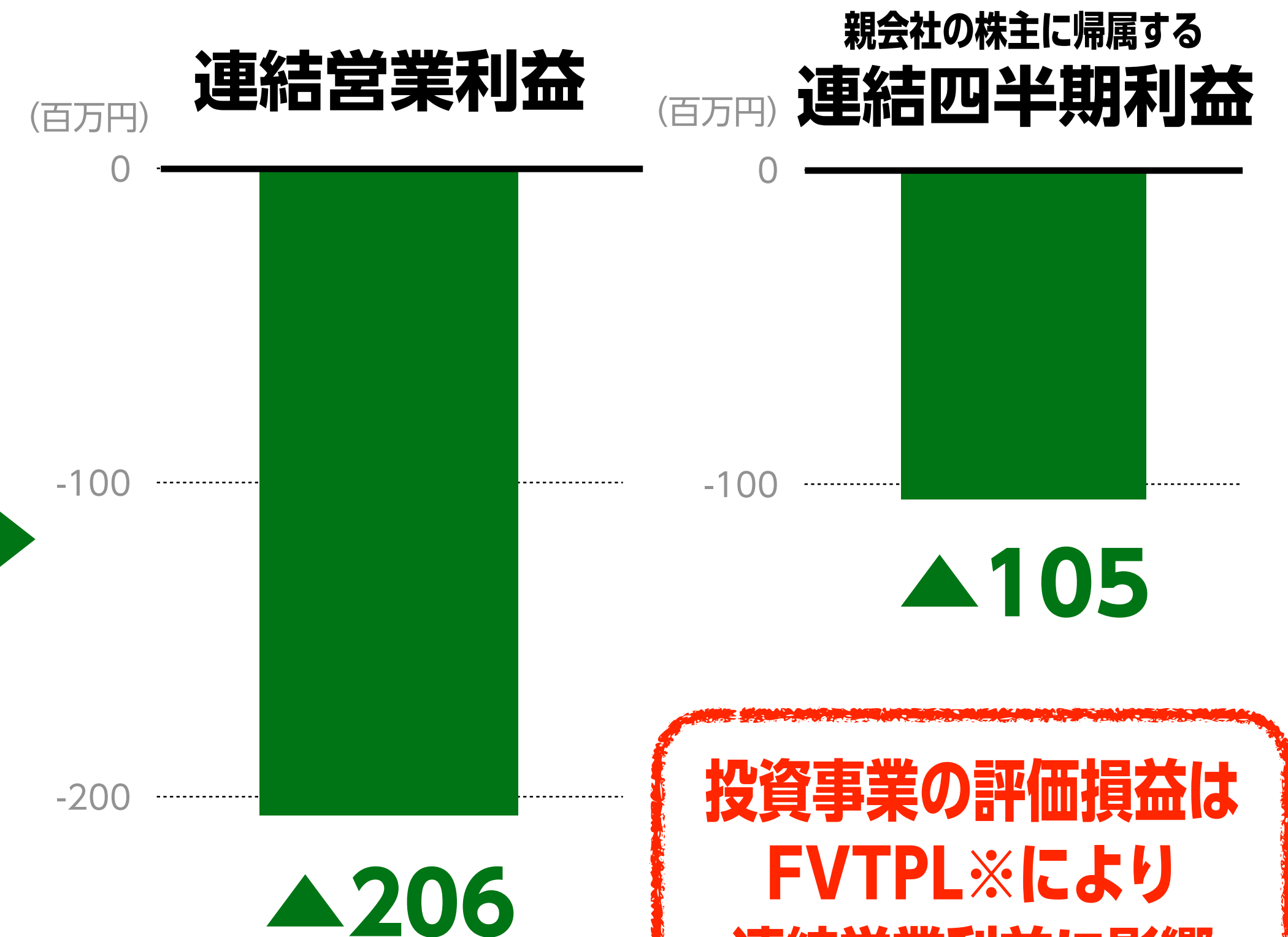
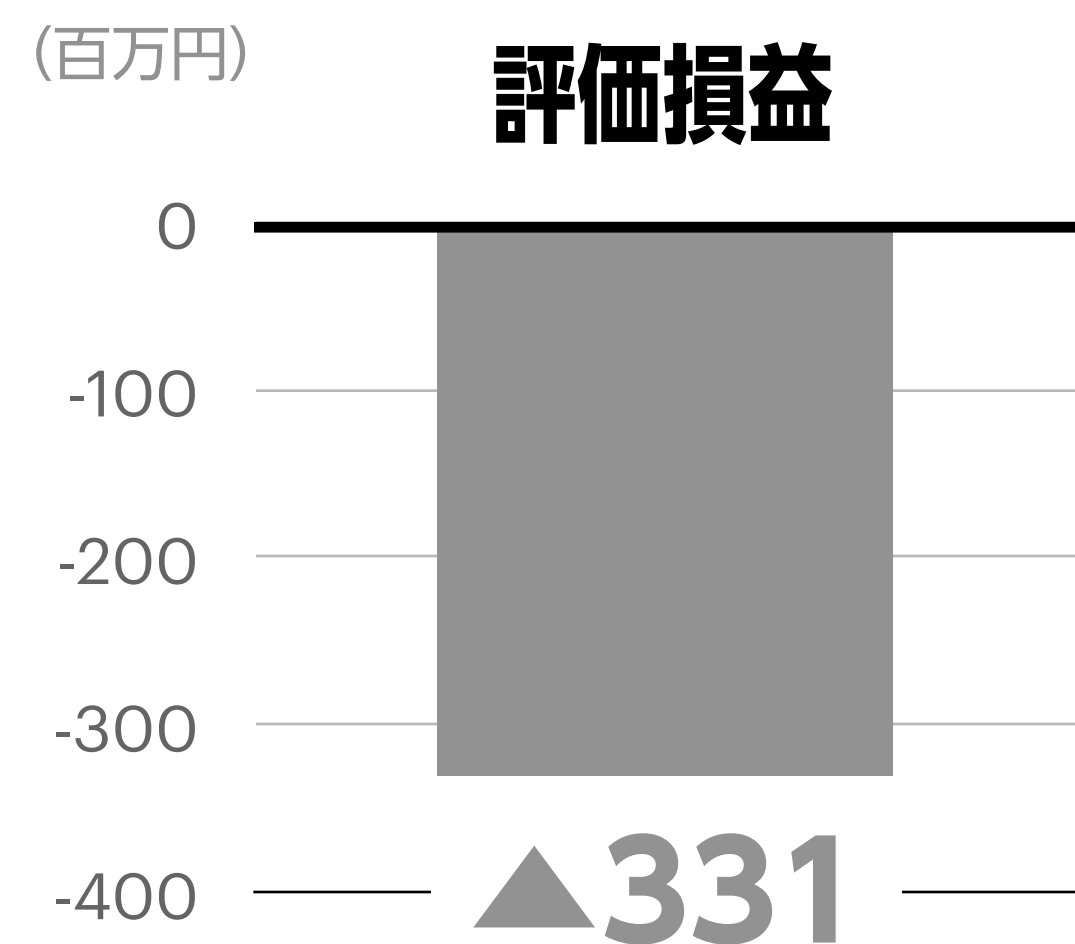
第1四半期

ソフトウェア セグメント



投資 セグメント

Gorilla社株価下落が
主な減益要因



投資事業の評価損益は
FVTPL※により
連結営業利益に影響

※FVTPL = 国際会計基準(IFRS)におけるFair Value Through Profit & Loss

新たな構成でソフトウェア事業の成長を牽引

先端技術と海外市場展開
による成長を担う

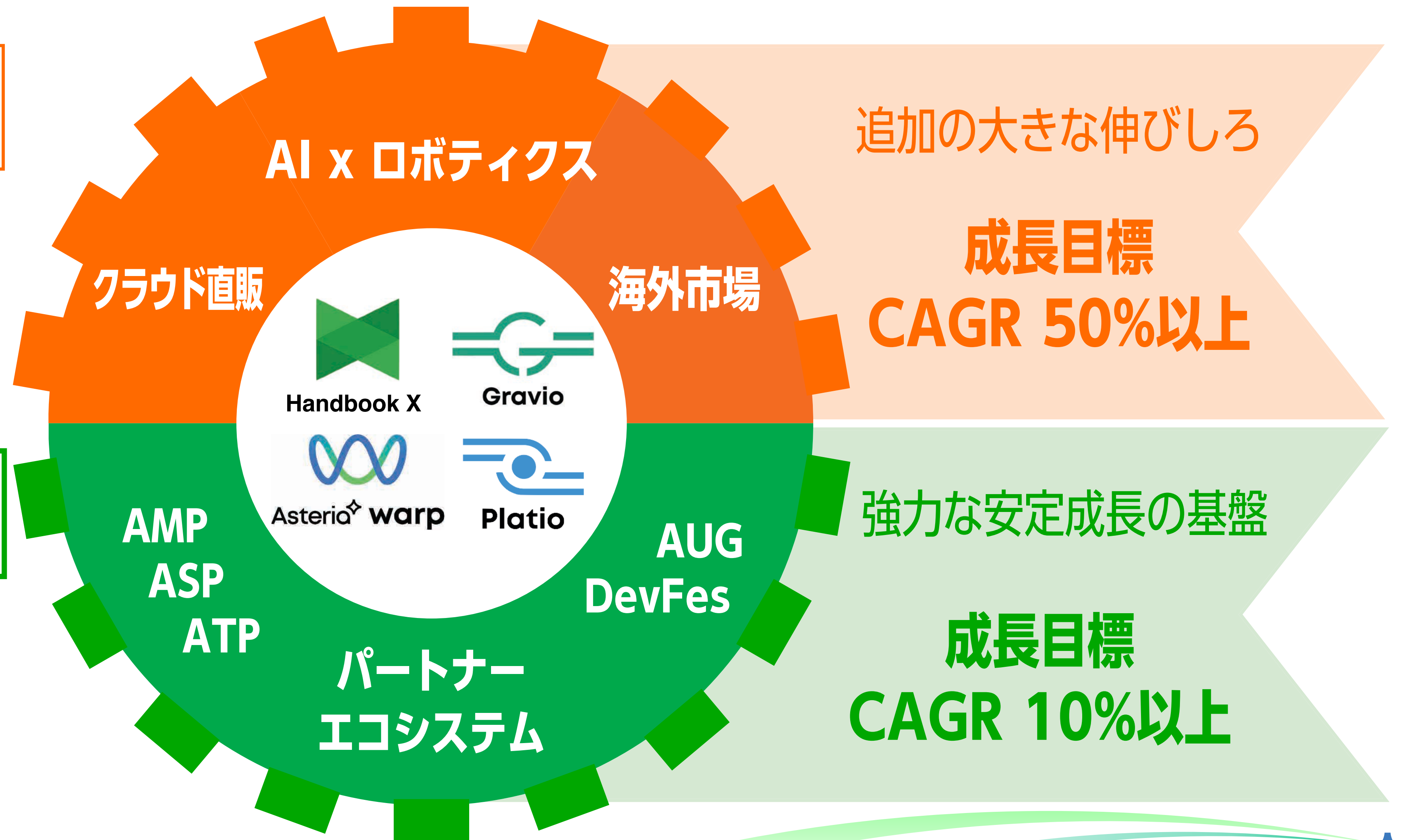
AOG事業グループ

Advanced-tech &
Overseas Growth

パートナーエコシステム
による成長を担う

ELG事業グループ

Eco-system Led Growth



ソフトウェア事業の中心となる製品群

「ノーコード」かつ「つなぐ」製品を提供



Asteria[◇] warp

シェア50%超
1万社超に導入



Platio

“3日でアプリ”
成長率No.1



Handbook Handbook[®] X

自律・分散・協調
時代の情報整理



Gravio

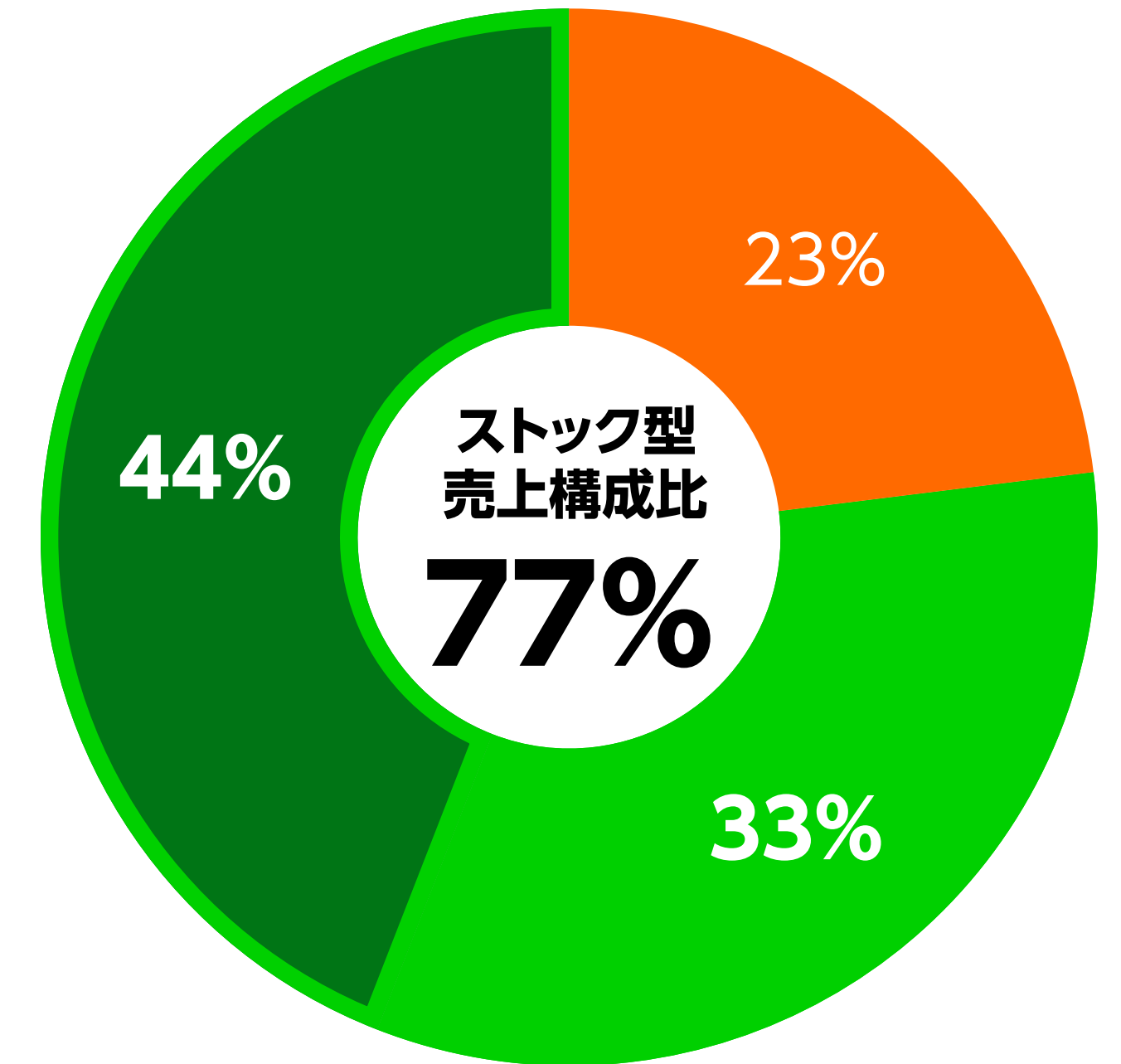
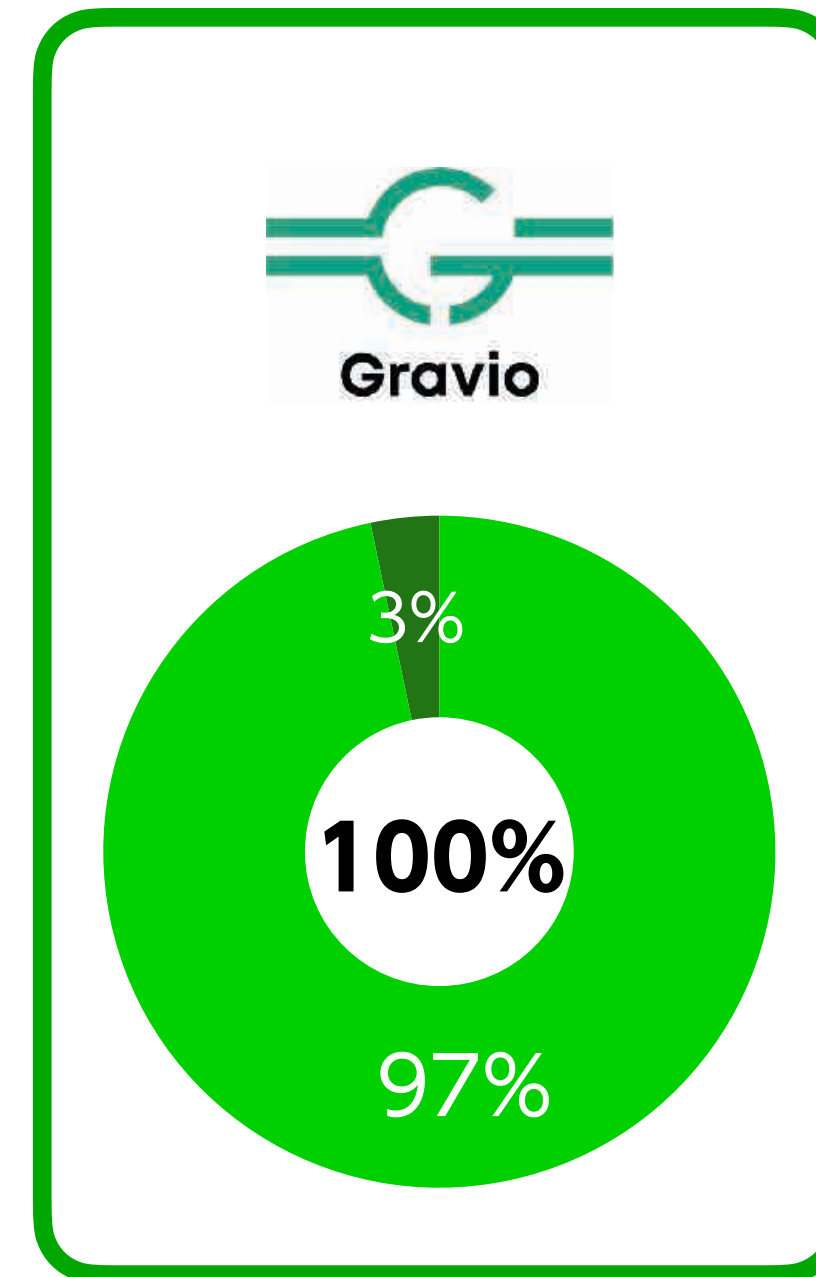
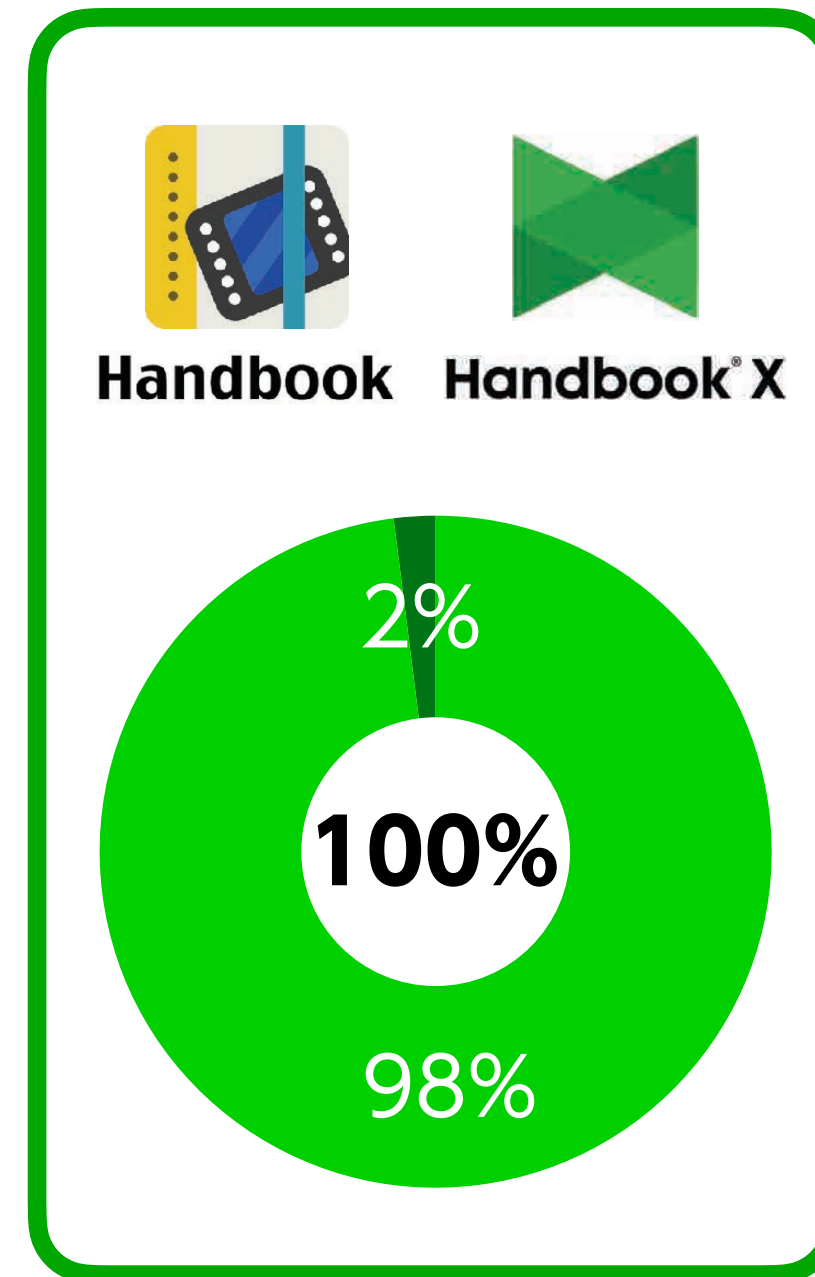
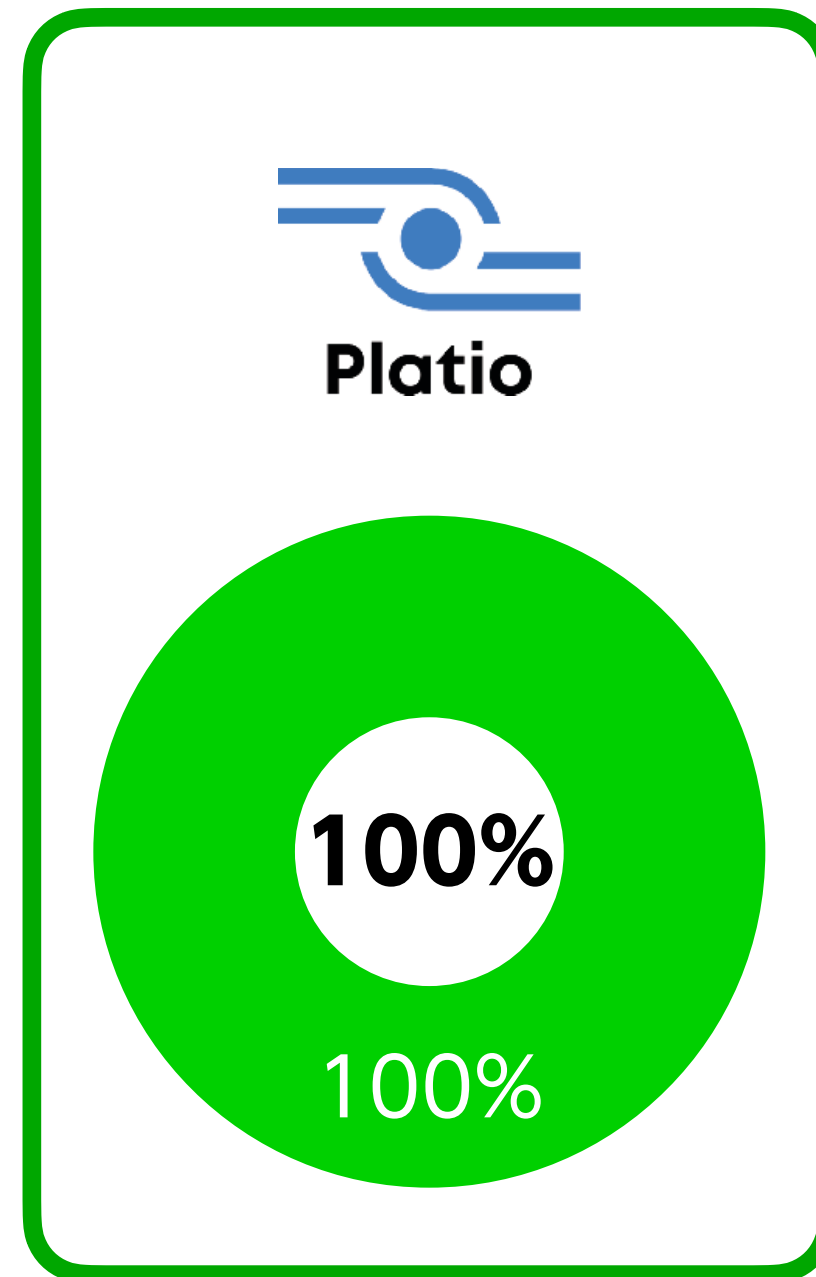
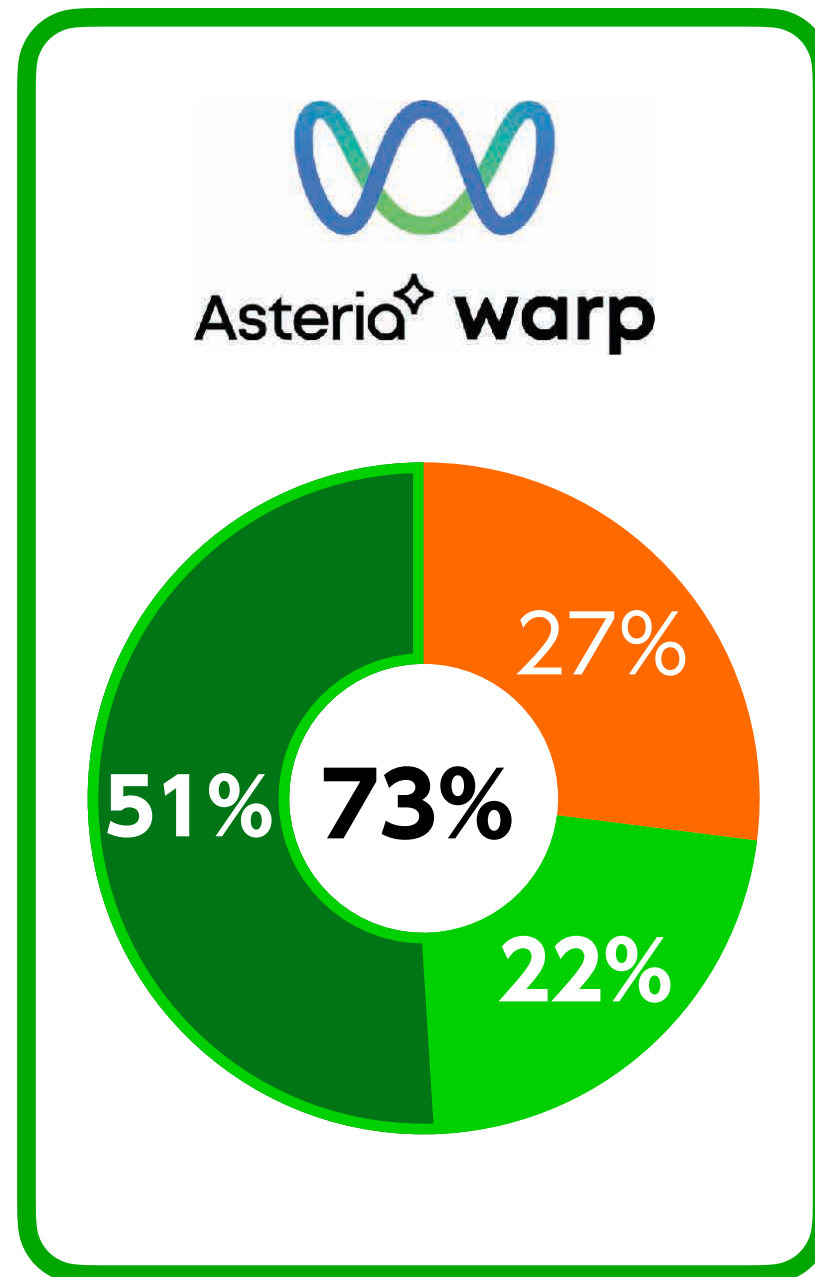
AI/IoTの
データ連携

海外

AOG事業グループ

ELG事業グループ

ストック型（継続課金型）売上への転換が進む



■ ライセンス
 ■ サブスク
 ■ サポート

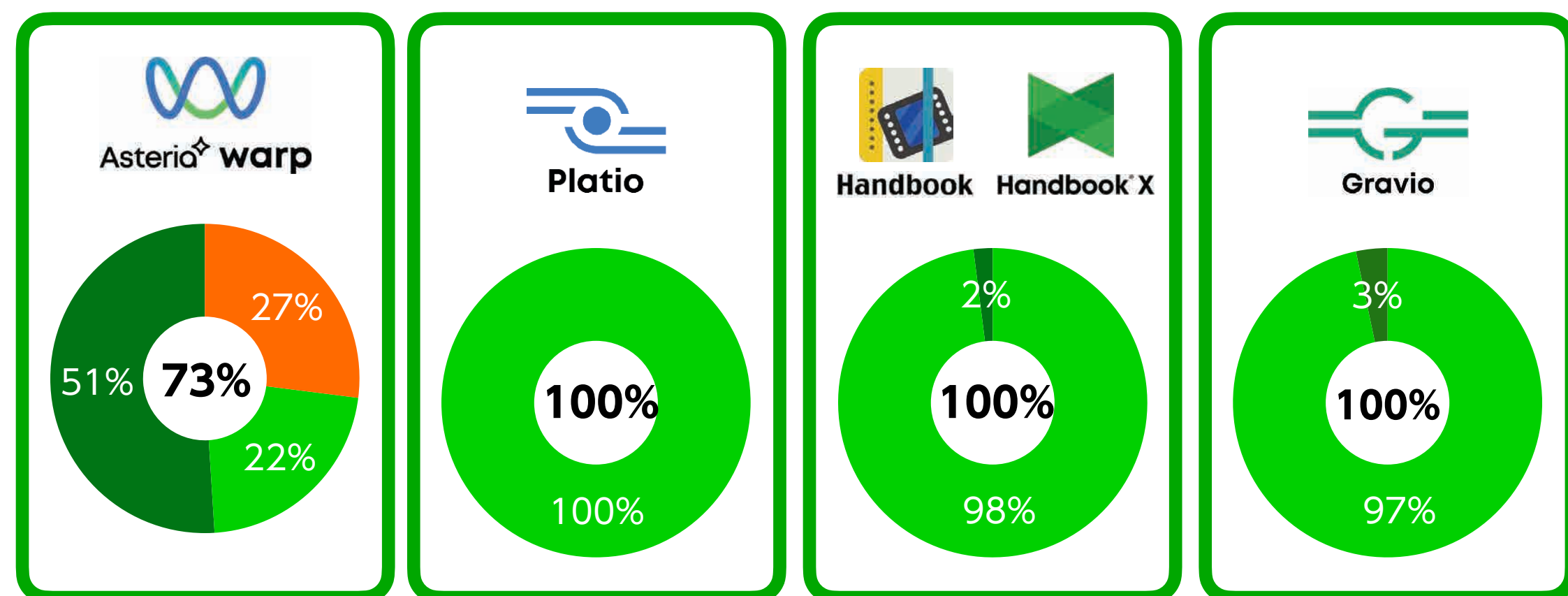
グラフ円内の%はサブスク+サポート

※金額ベース、2025/3 第1四半期実績

ソフトウェア事業全体

✓ 安定成長の基盤となる**ストック型売上**（サブスク+サポート）の割合が順調に増加

サブスク売上は安定成長の源泉

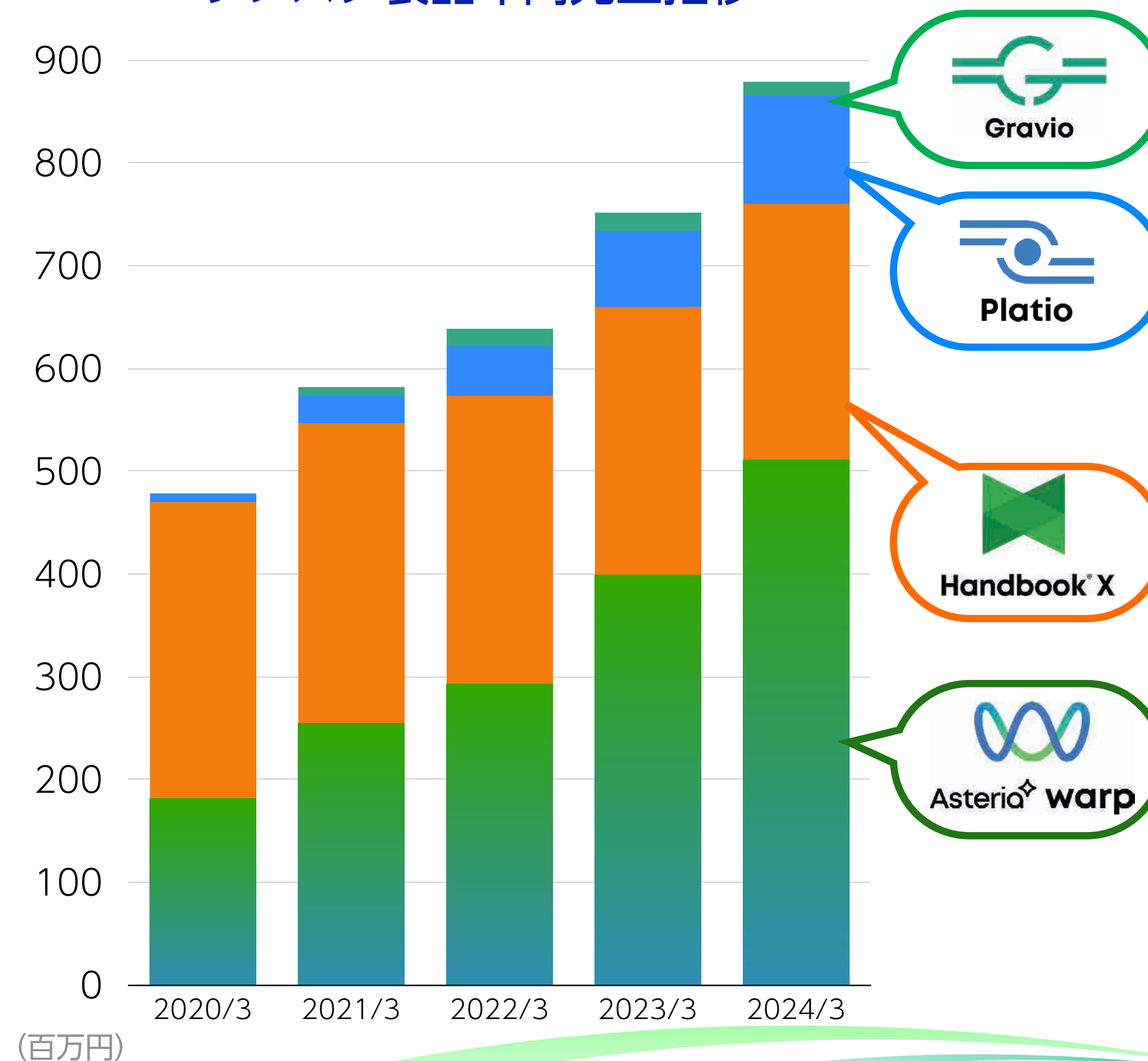


■ ライセンス
 ■ サブスク
 ■ サポート
 グラフ円内の%はサブスク+サポート

※金額ベース、2025/3 第1四半期実績

- ✓ サブスクは月次使用料により、**毎月売上が計上**され安定成長を実現
- ✓ 新規開拓だけでなく、**解約率の低減**も売上獲得にとって重要な要素

サブスク製品年間売上推移



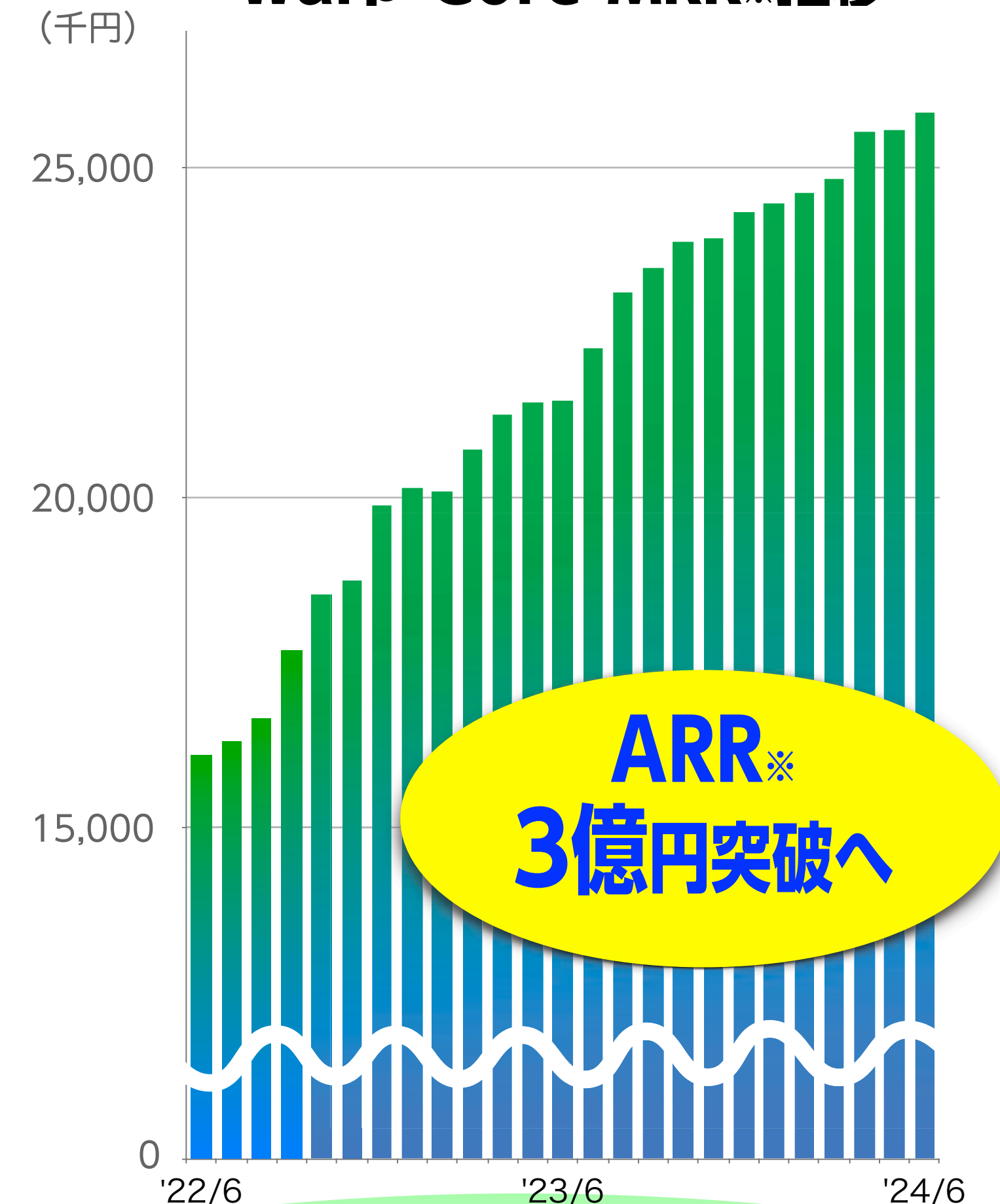
Asteria[◇] warp

サブスク比率**73%**に拡大 (前年同期比:6.8%増加)

- ✓ Q1売上として最高の**1.4億円**を記録 (サブスク)
- ✓ 新規顧客への販売をライセンスからサブスクへシフトし**売上収益の安定化**へ
- ✓ サブスクは**スモールスタート**が可能のため、地方企業や中小企業でも採用が加速
- ✓ サブスクの**上位版ラインアップ**提供開始

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)

Warp Core MRR[※]推移



Platio

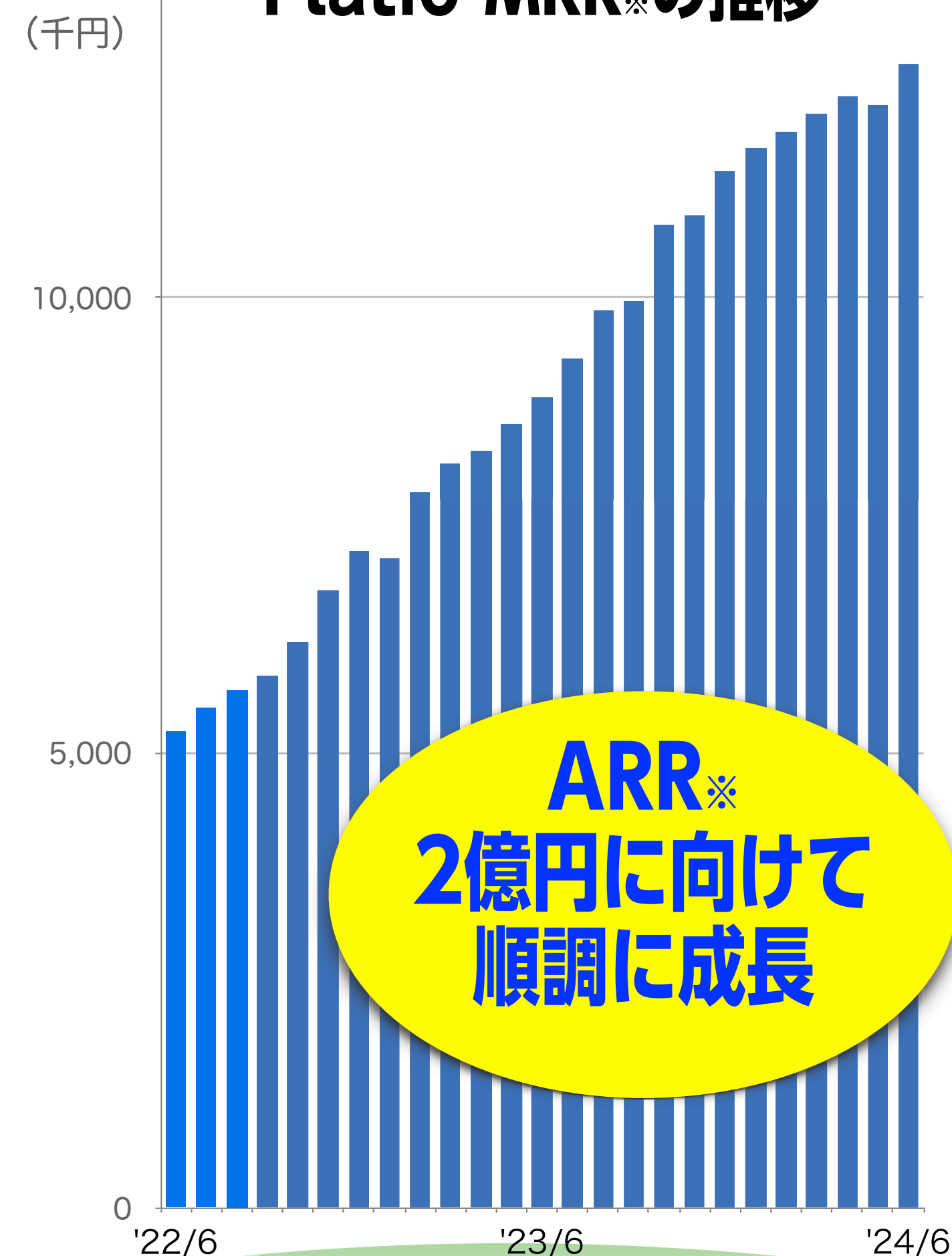
大幅なMRR※の伸びが継続

- ✓ 第1四半期売上が前年同期比**44%増**
- ✓ **Platio Connect**などPlatioファミリー拡充により**顧客単価向上**
- ✓ **2024年問題** (残業時間規制) 対応のために、引き続き物流・建設業界の引き合いが拡大
- ✓ 様々な用途での**導入事例**が続々と公開され、**防災アプリ**の事例も増加

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)

Platio MRR※の推移



AOG

Gravio: 事業提携で東南アジアに展開

tapway 

2024年6月19日発表

◆ 東南アジアのAI開発企業

- ✓ ノーコードで**顧客個別の推論モデル**を構築・展開できる「SamurAI」
- ✓ **NVIDIA**のパートナー企業

◆ 共同でマレーシアのイベントに出展

- ✓ 7/17-19 MIFB(Malaysian International Food & Beverage Trade Fair)@クアラルンプール



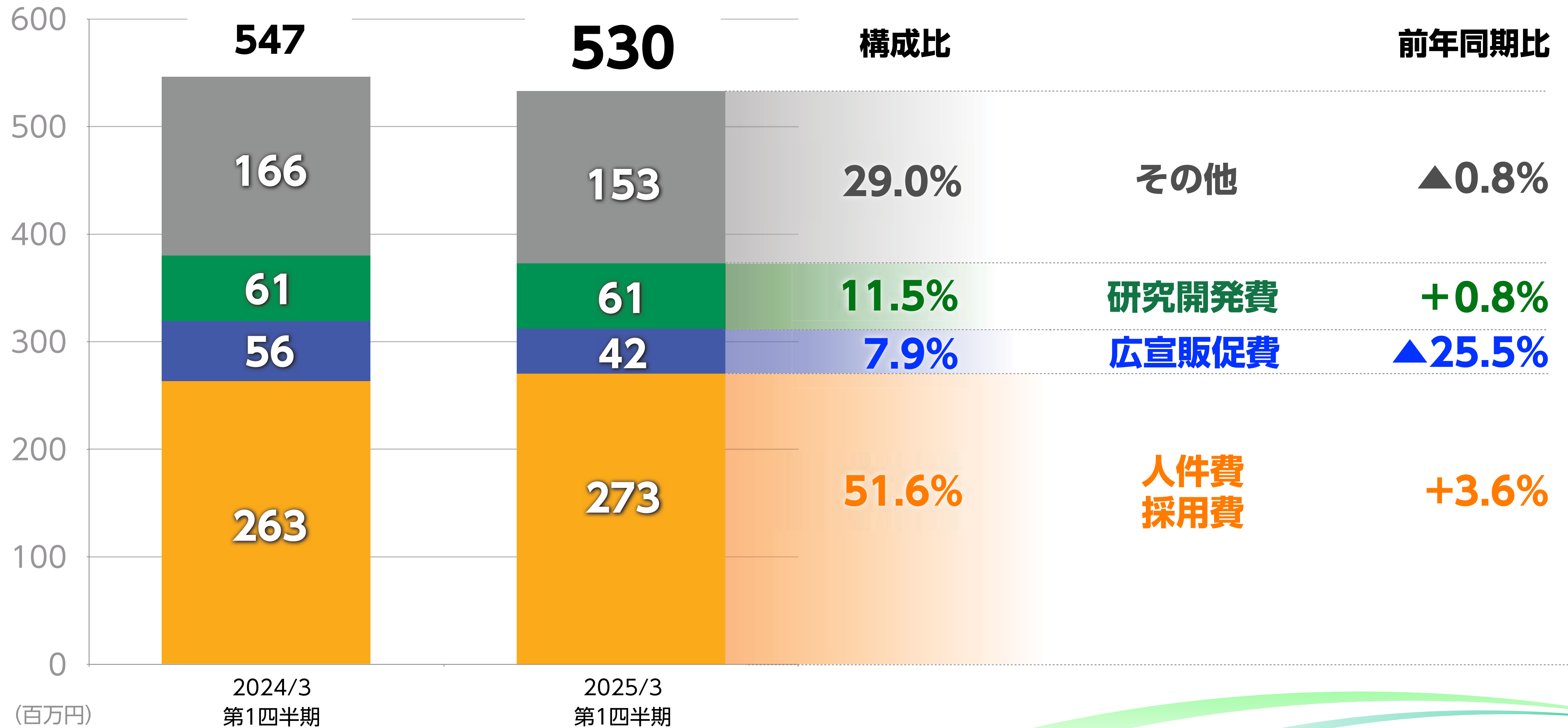
"Our software leverages cutting-edge NVIDIA GPU-accelerated computing to achieve superior AI vision inference and training performance that improves operational efficiencies and meets various customer requirements. With NVIDIA Triton, TensorRT, and DeepStream technologies, and most importantly, the power of NVIDIA GPU...

tapway 

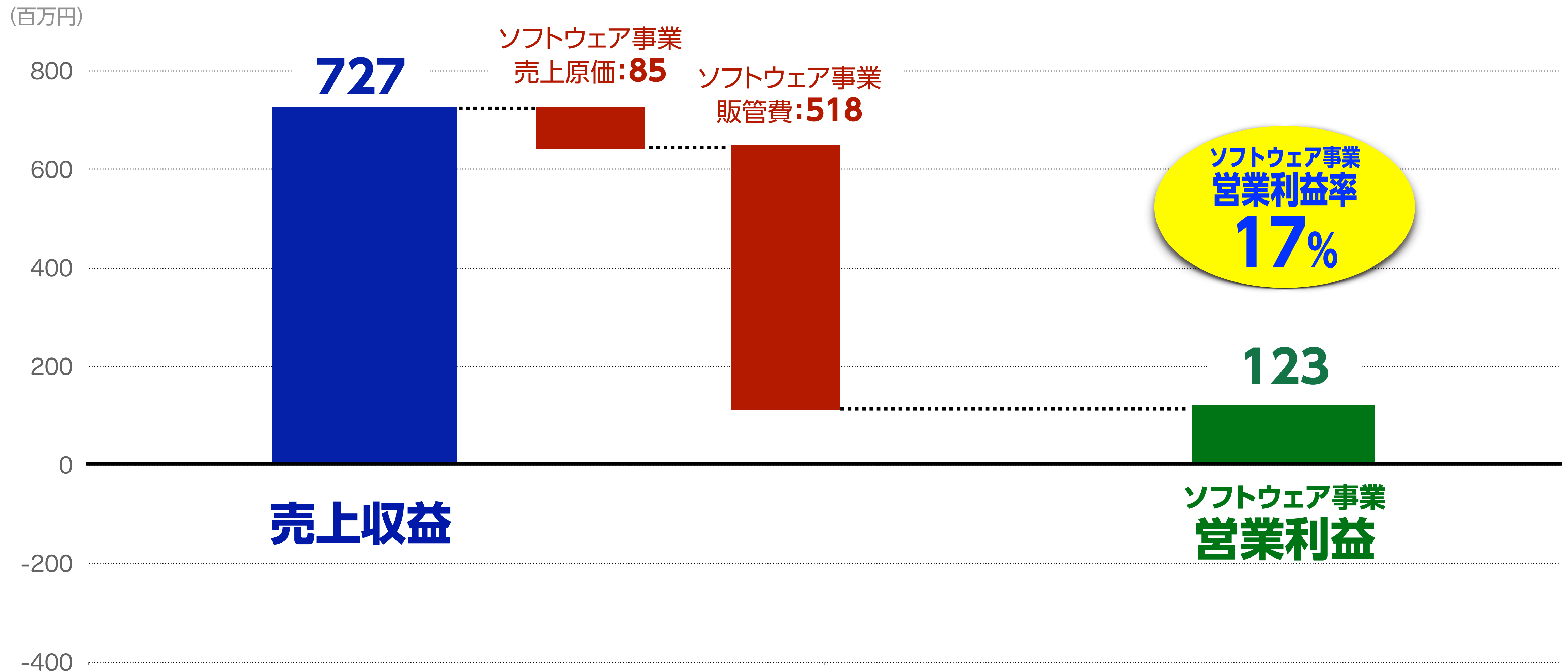
Toll Payment Operations

Asteria 

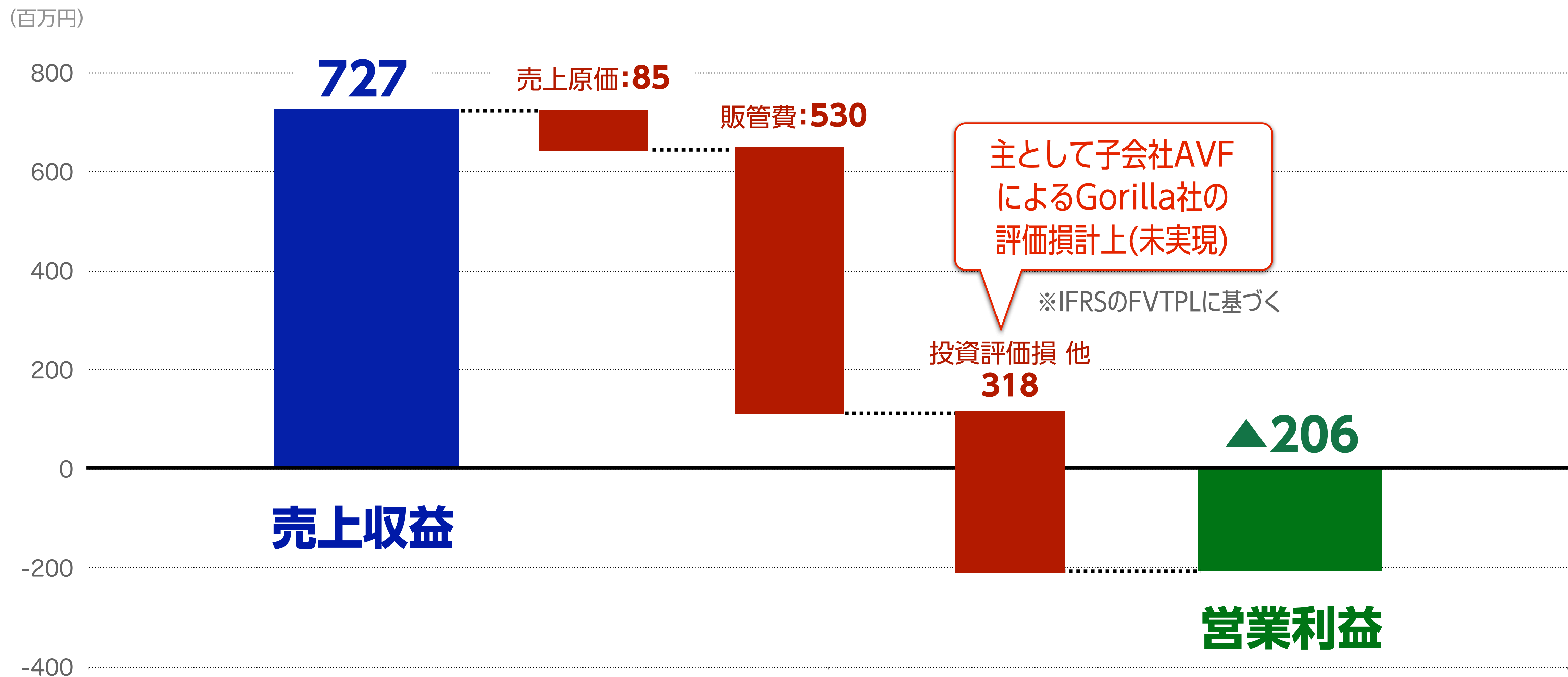
販売管理費の推移 (前年同期比)



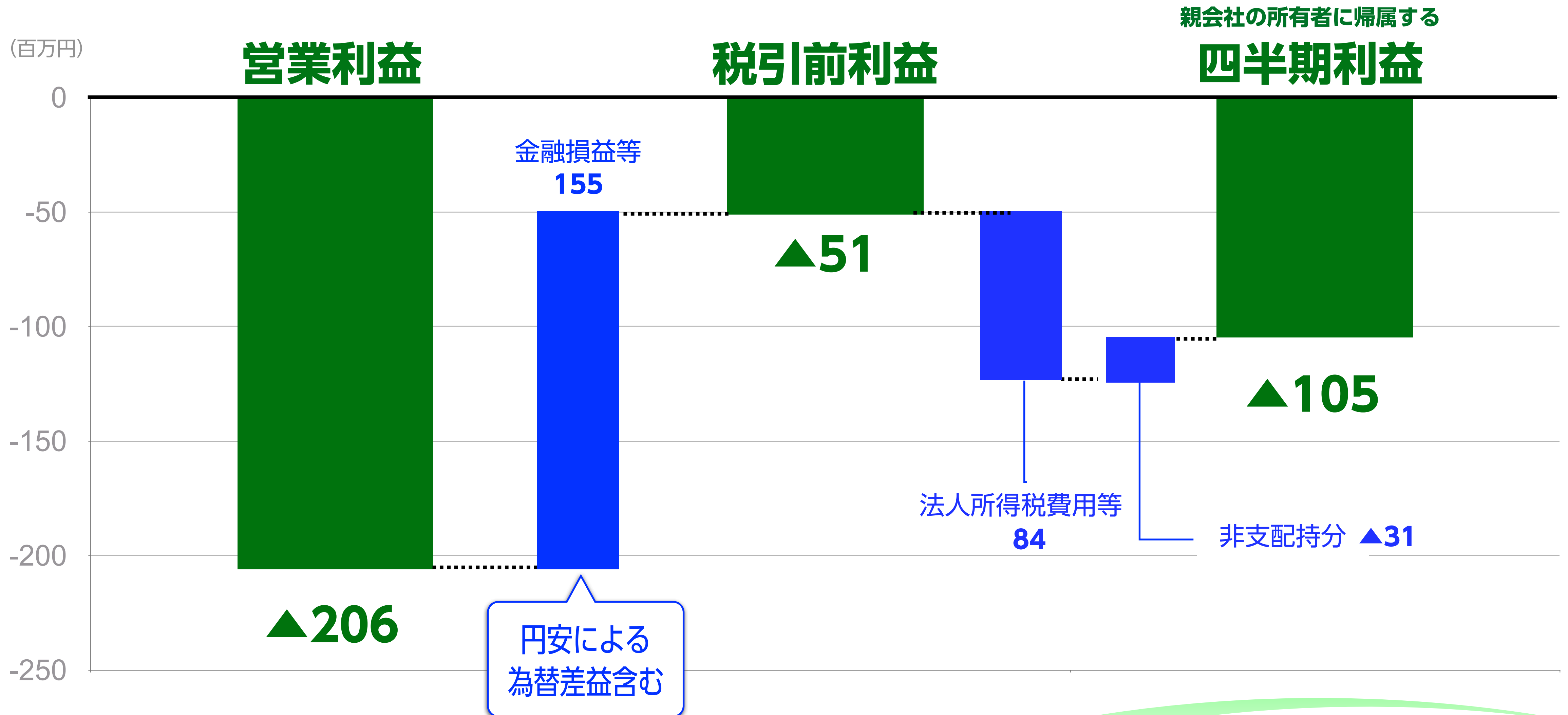
ソフトウェア事業:売上収益から営業利益まで



連結：売上収益から営業利益まで

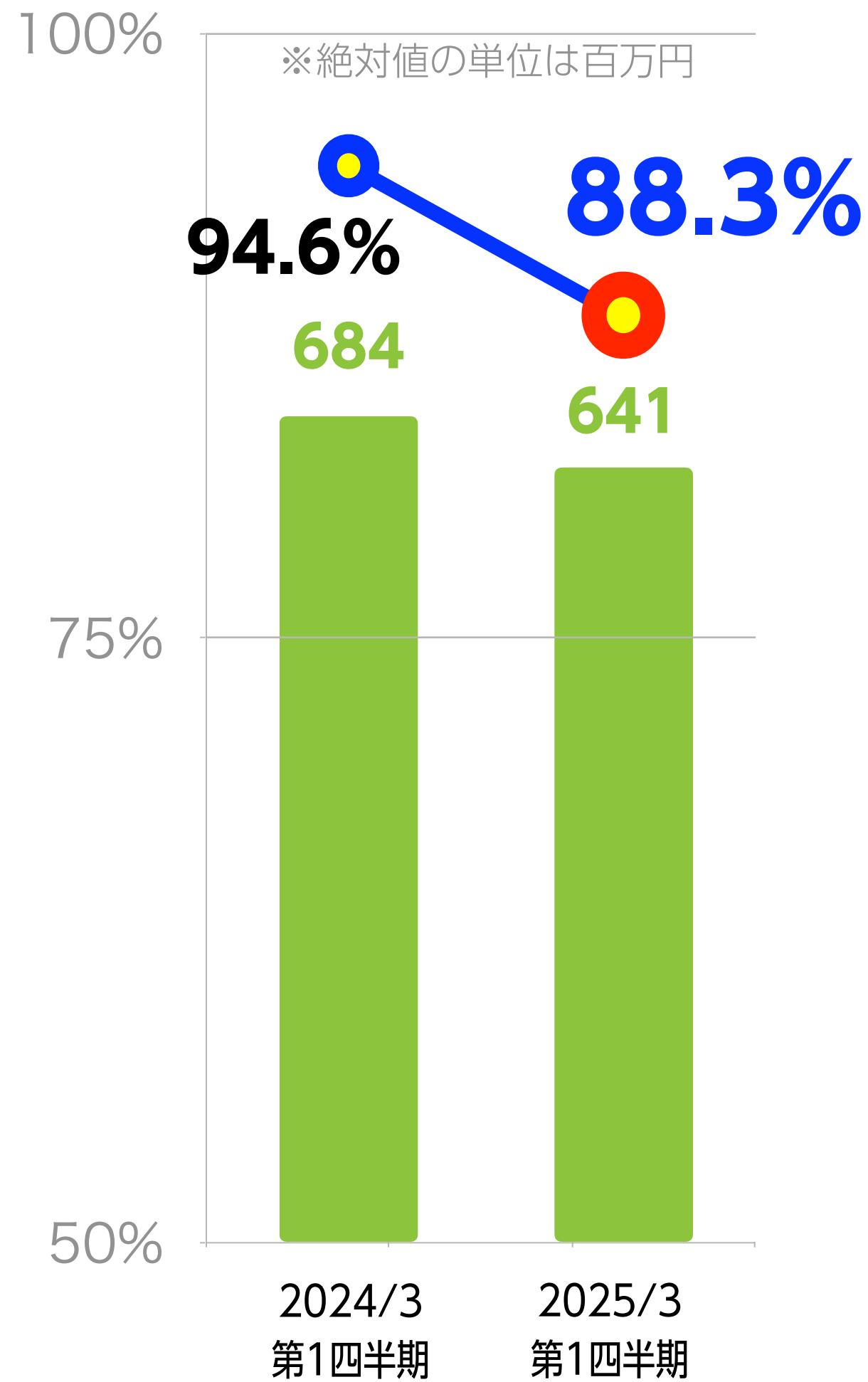


連結：営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)

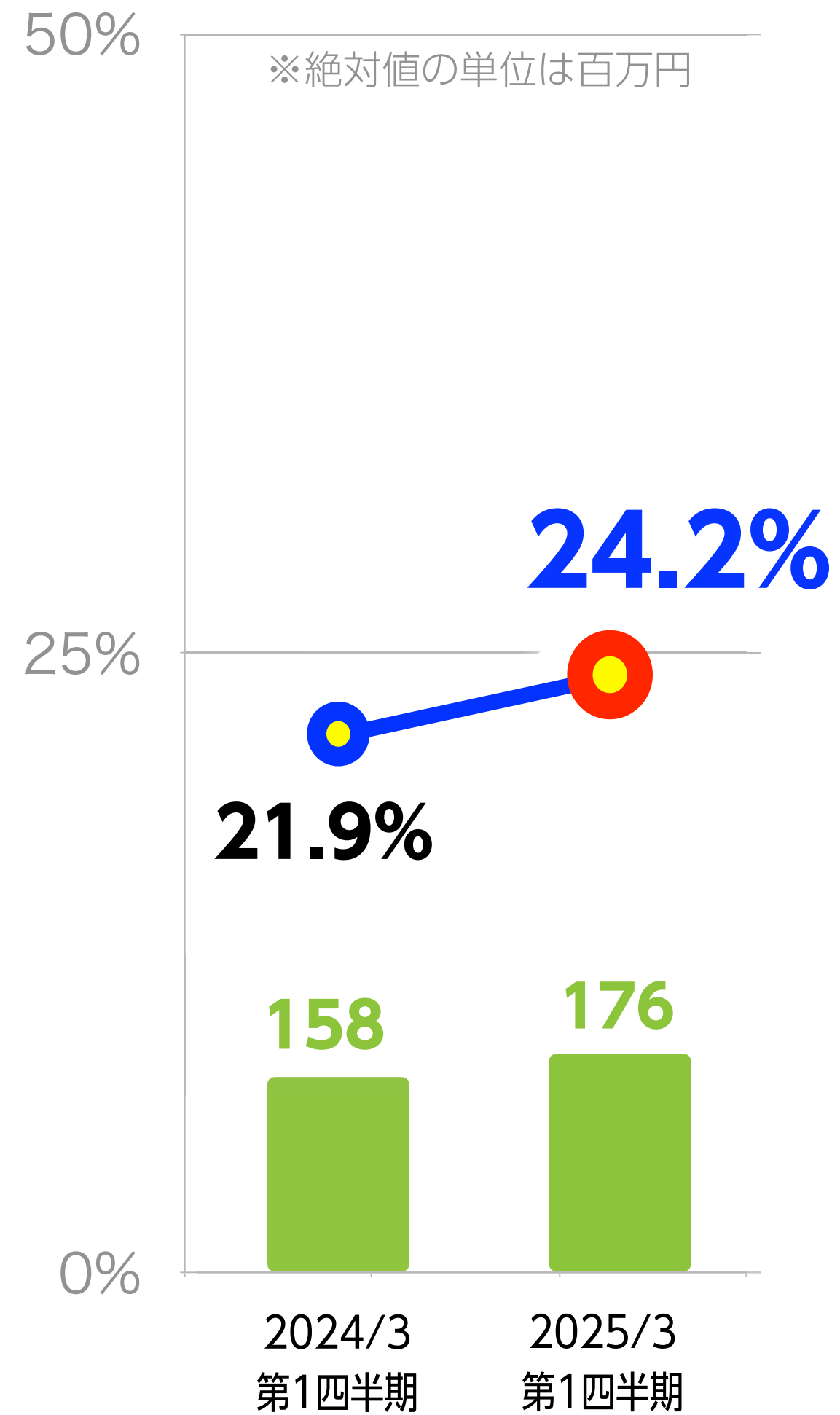


主な経営指標の推移

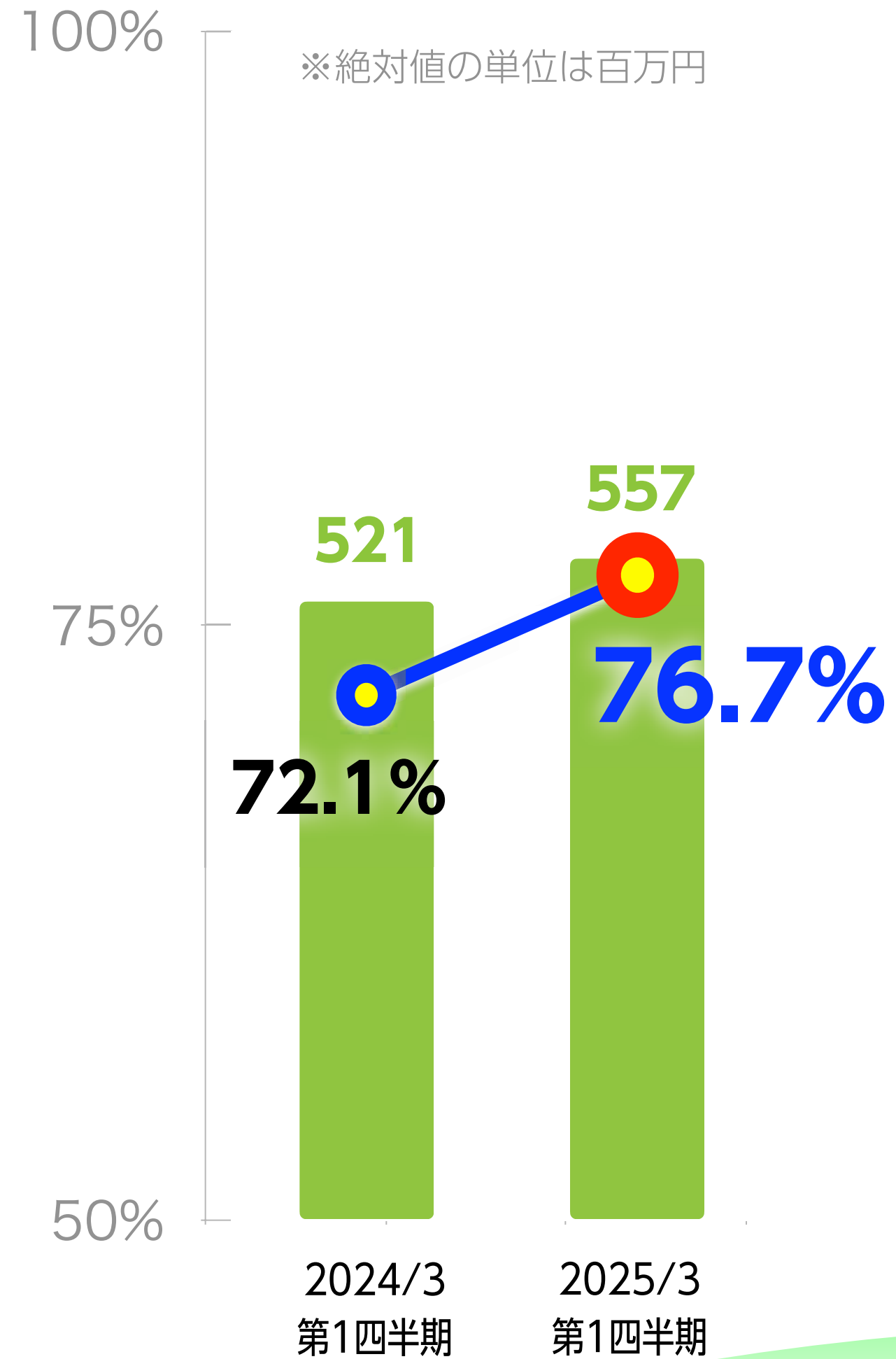
売上総利益/率



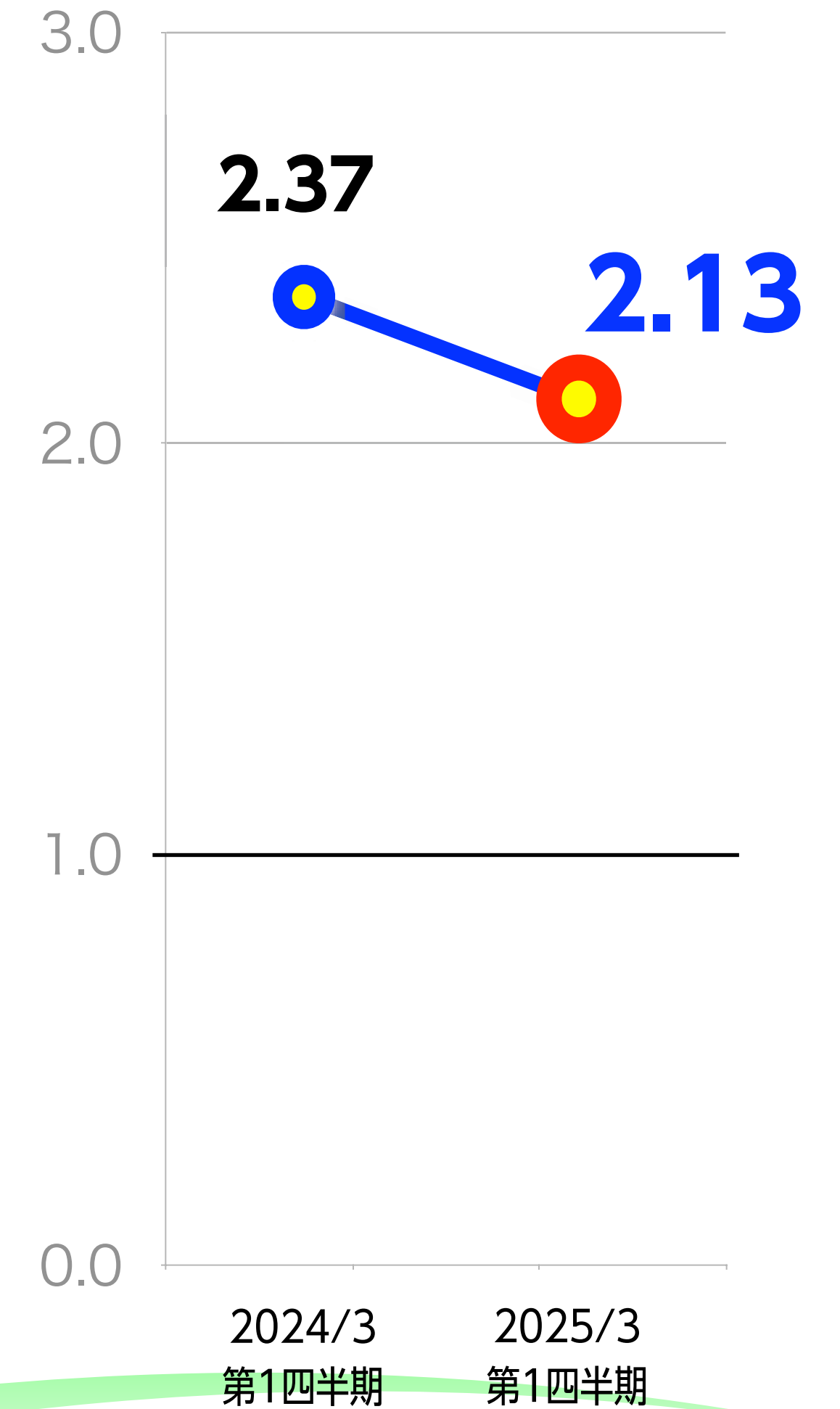
調整後EBITDA/率



継続型売上/率



PBR(株価純資産倍率)



成長のための施策

継続する社会課題は新たな需要を生む

◆ 人手不足・人材不足

→ デジタル化により必要人数や残業を削減

◆ 2025年の崖 (出典: 経済産業省DXレポート)

→ レガシーシステムの刷新 & 新技術への対応

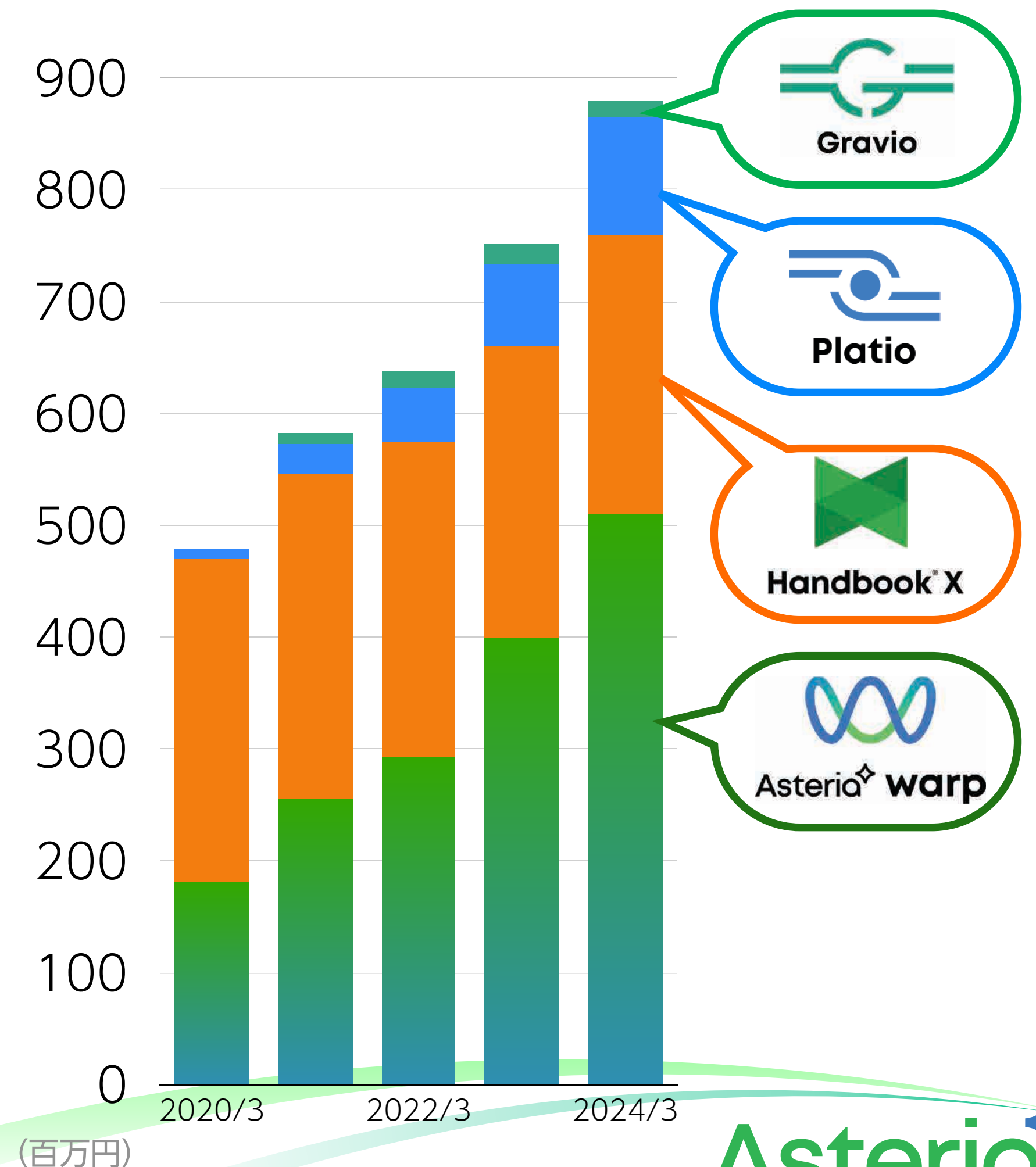
◆ SAP2027年問題 (旧版ERPの保守終了)

→ システム更改におけるデータ連携需要が拡大

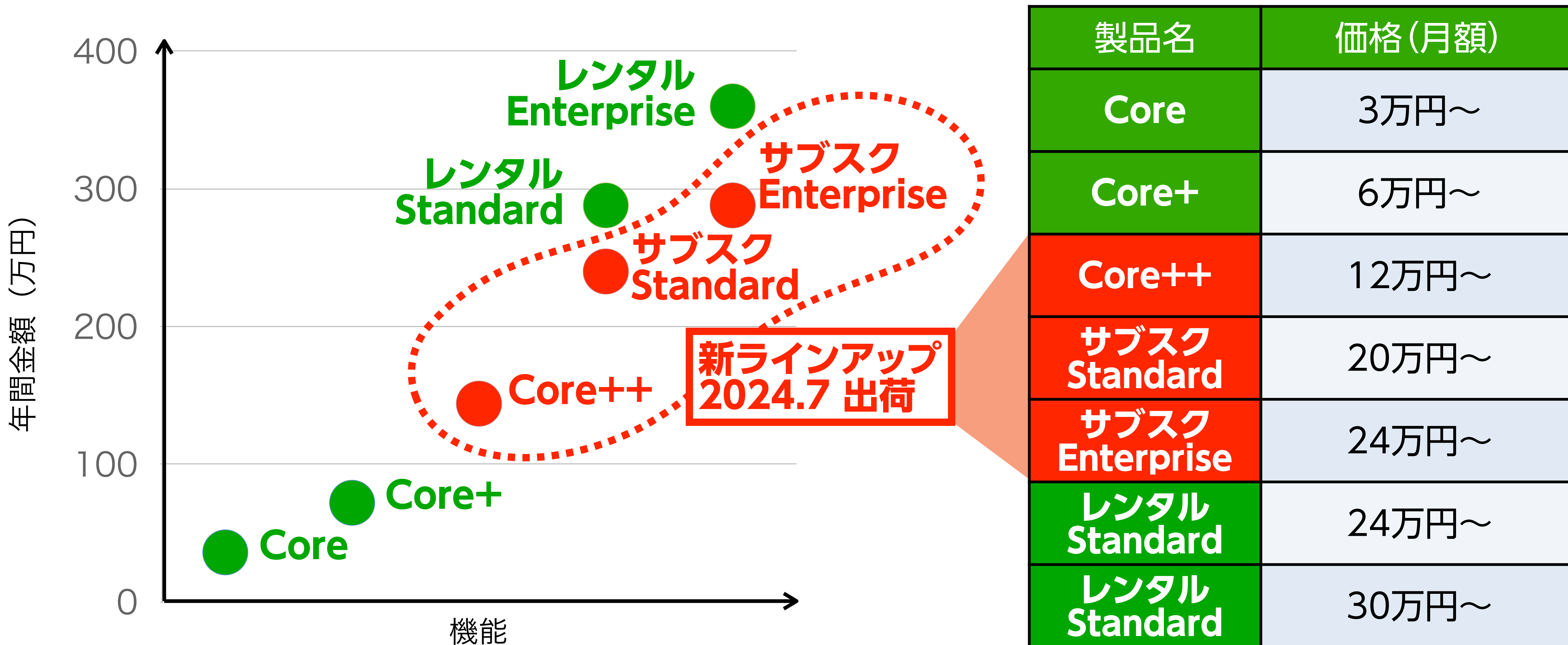
◆ デジタル行財政改革

→ システム基盤刷新 & ガバメントクラウドの導入

サブスク製品年間売上推移



◆ Coreの上位版(Core++)とフル機能サブスク版(Standard, Enterprise)を投入



◆Platio Connect販促強化

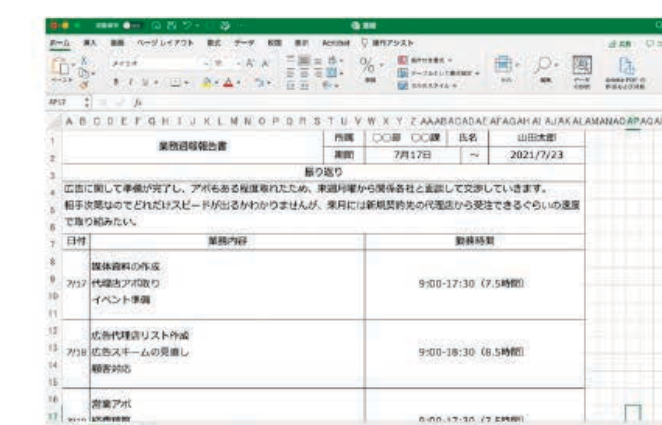
社内データや現場データを連携 & 活用

- ✓ アプリ作成からデータ連携までノーコードで完結
- ✓ 短期間かつ低コストで構築可能
- ✓ 月額9万円～**顧客単価向上**へ

Platio Connect × Excel



業務日報アプリを作成
現場では日々アプリから手軽に登録



アプリのデータを元にExcelデータを自動生成
管理者は見たい形に加工したデータを確認

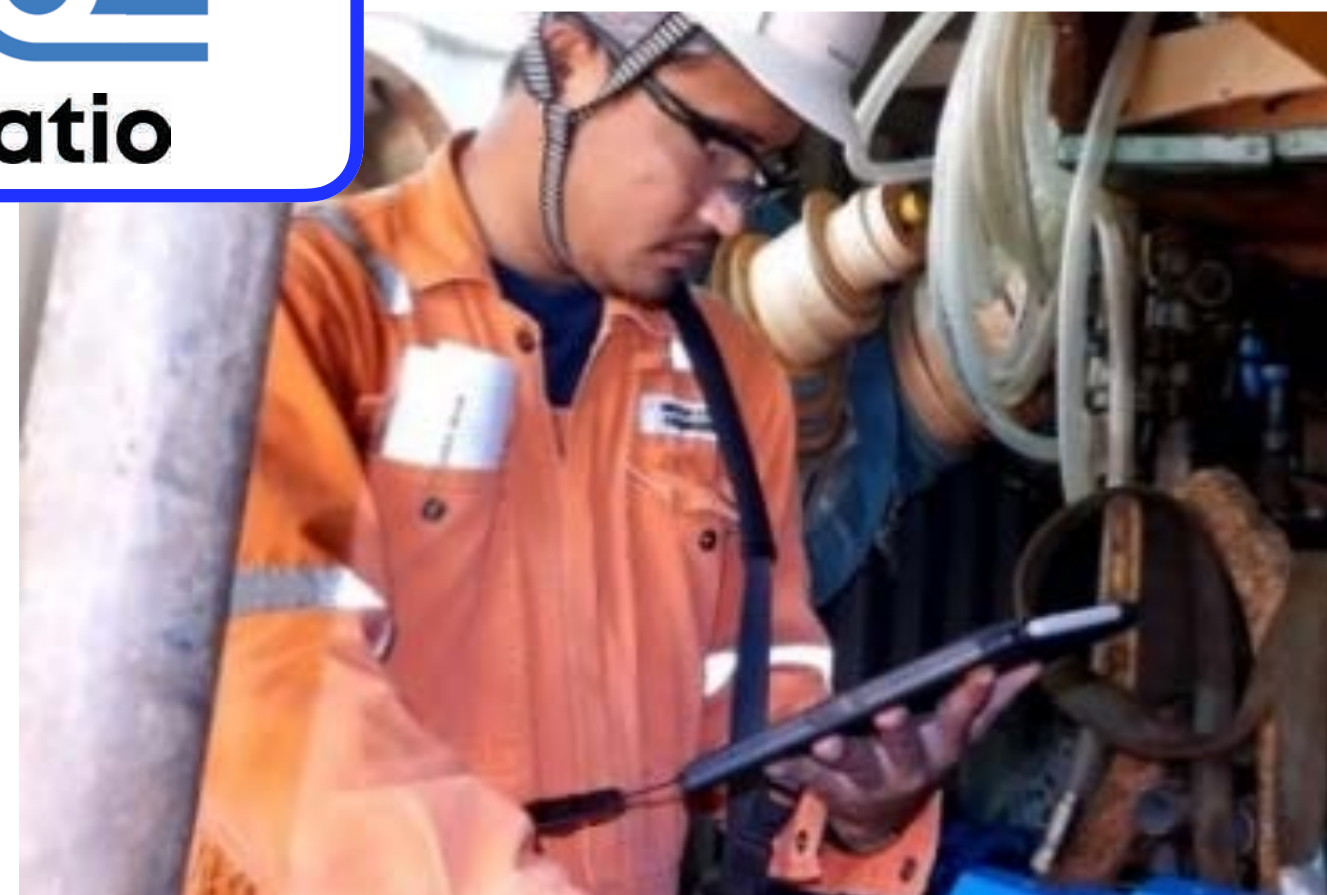
◆2024年問題/人材不足をアプリで解決

現場業務のアプリ化を**積極プロモーション**

- ✓ 物流・建設業界の新規顧客開拓
- ✓ 既存顧客の全社利用などアップセルを加速



置き配式の配達状況を
アプリで確認(洛西貨物)



◆オリオンビール(沖縄県)

- ✓ 受注管理システムなどをノーコードで連携
- ✓ 受注業務のデジタル化・自動化で工数半減へ

◆日鉄エンジニアリング(東京都)

- ✓ 海底パイプラインの施工記録をノーコードでアプリ化
- ✓ 通信圏外の海上での利用も
- ✓ 英語表記で多言語対応も実現

◆JAつがる弘前(青森県)

- ✓ りんごの在庫管理をアプリ化
- ✓ 脱FAX&脱ペーパーを実現
- ✓ 在庫管理業務工数を年間500時間削減

2024年6月19日発表

◆Gravio用カスタムAIモデルの作成が可能に

- ✓ Tapway SamurAIを統合
- ✓ 各社オリジナルのモデルを開発

◆東南アジアへの販売

- ✓ AIoT SuiteとしてGravioを販売
- ✓ マレーシア、シンガポールから

◆共同マーケティングを開始

Asteria

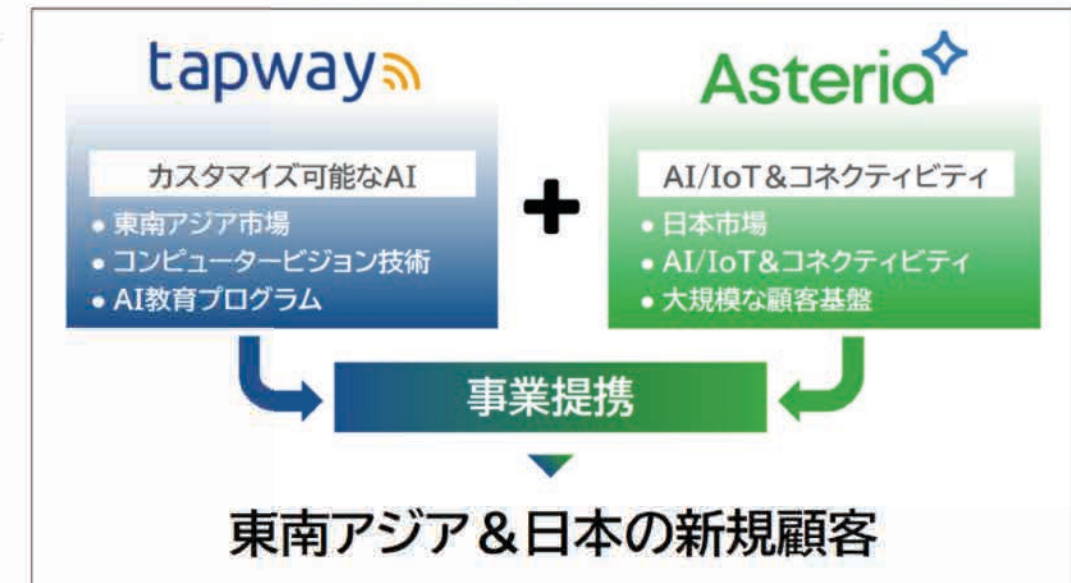
報道発表資料

tapway

2024年6月19日
アステリア株式会社
Tapway Sdn Bhd.

アステリアとマレーシアのAI企業 Tapway が事業提携し AI・IoT サービスを共同開発 完全ノーコードの製品から AI 教育までをトータルに揃え、2024年7月に提供開始 ~ マレーシアをはじめとした東南アジア市場と日本市場へ相互に新規参入 ~

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）と Tapway Sdn Bhd.（本社：マレーシアセランゴール州、CEO：Chee How Lim、以下 Tapway）は、エッジ AI・IoT ビジネスにおける製品開発およびマーケティングに関する事業提携を開始することを発表します。この事業提携により、アステリアはマレーシア、シンガポール、フィリピン等東南アジアの AI 市場に新規参入するとともに、Tapway は日本市場への初進出を果たします。



■各社製品の概要

Tapway は、東南アジアで様々な企業の事業運営に貢献する AI ソリューションを提供している AI 開発企業です。顧客のニーズに応じて車両、人、物体などを識別するための AI 推論モデルを構築・展開できるソフトウェア「SamurAI」を開発・提供しています

このソフトウェアは、マレーシアの高速道路で導入されており、通行料支払確認、交通渋滞の緩和、労働力不足の解消、効率の向上、コストの削減を実現しています。輸送分野以外でも、小

アステリア (3853) 第1四半期まとめ

✓ **投資事業のマイナスだが影響が大幅に減少**

(評価減は現金に影響なし)

✓ **調整後EBITDAは3ヶ月で1.8億円超の黒字**

(ソフトウェア事業の実力値)

✓ **背景はサブスク製品(Core,Platio)の好調**

✓ **ソフトウェア事業はELG,AOGで新たな成長へ**



2025年3月期 Q1決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)